

特279

9

訂改 產業組合關係法規

產業組合中央會編纂

東京 產業組合中央會藏版

278  
1279

始



特279

9

產業組合中央會編纂

訂改  
產業組合關係法規

東京 產業組合中央會藏版

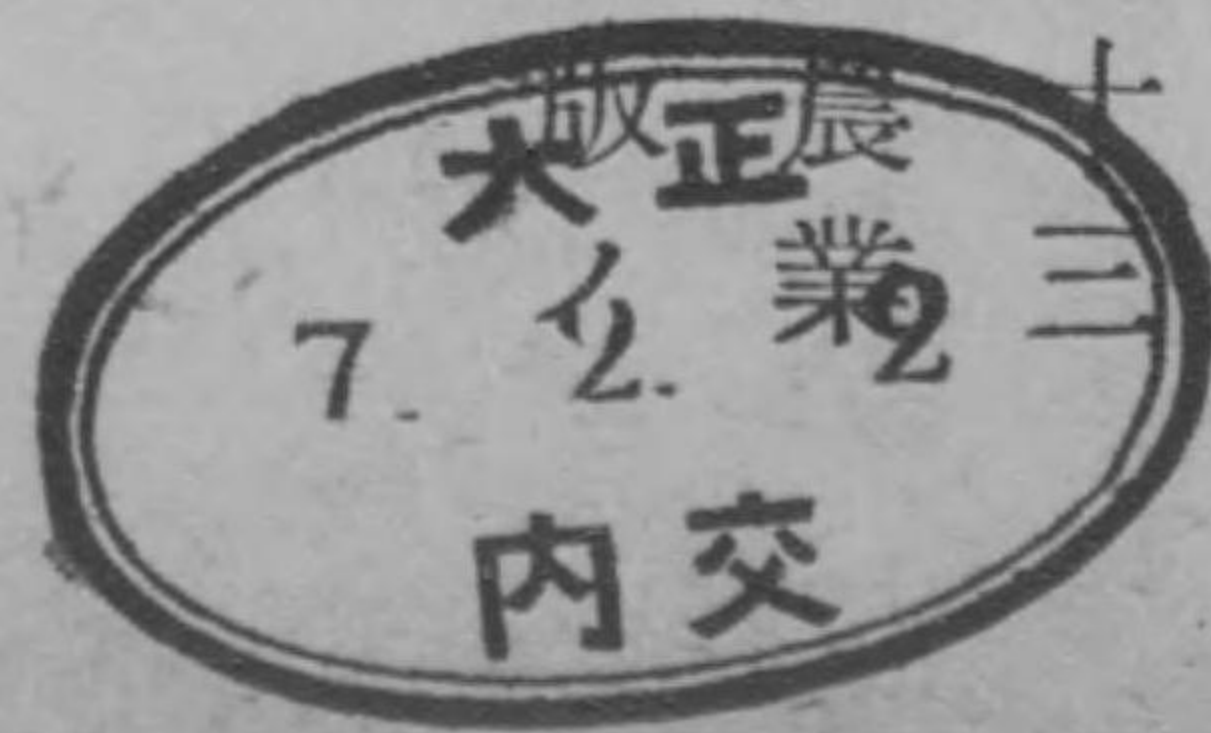
275  
279

改訂第二十四版ニ就テ

本書ハ産業組合並農業倉庫ニ關スル法規訓  
令通牒等ヲ蒐輯シタルモノニシテ明治四十  
年五月初版發行以來版ヲ重ヌルコト二十三  
回ニ及ヒシカ本年産業組合法ノ改正及  
倉庫業法ノ制定アリタルニ依リ全部改  
上第二十四版ノ發行ヲナセルモノナリ

大正六年十二月二十五日

産業組合中央會





# 産業組合關係法規目次

## 〔一〕産業組合ニ關スル法規

- 産業組合法
- 拂戻準備金ノ管理ニ關スル件
- 産業組合中央會ノ設立及事業ニ關スル件
- 産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關スル件
- 産業組合法施行規則
- 産業組合法第一條ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件
- 臺灣産業組合法規則
- 臺灣産業組合規則施行規則
- 産業組合法ヲ樞太ニ施行スルノ件
- 産業組合登記取扱手續
- 産業組合登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手續

目次

一

一 五 五 五 五 五 五 五 一

料ノ件

産業組合ニ關スル登記ヲ取扱フ登記所ノ件

農業倉庫業法

農業倉庫業法施行規則

農業倉庫獎勵規則

日本勸業銀行法抄

農工銀行法抄

北海道拓殖銀行法抄

郵便貯金法抄

郵便貯金規則抄

政府ニ於テ産業組合ヨリ物品ノ買入ヲ爲ストキ隨意契約ニ

依ルコトヲ得ルノ件

家畜市場法施行規則抄

水産講習所種苗拂下規則抄

### 〔二〕訓令及通牒

産業組合及産業組合聯合會取扱心得

産業組合及産業組合聯合會取扱心得中改正ニ關スル件

財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式ニ

關スル件

市街地信用組合ノ財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘

金處分案様式ニ關スル件

産業組合カ蠶種製造ニ關スル件

地主カ販賣組合ニ加入スルノ件

組合員カ組合ヨリ受クル配當金ニ對スル所得税ニ關スル件

産業組合名稱ニ關スル件

産業組合法中加工ノ意義ニ關スル件

定款ノ規定上注意スヘキ事項ニ關スル件

目次

三

一五 一六 一七 一八 一九 二〇 二一 二二 二三 二四 二五 二六 二七 二八 二九 三〇 三一 三二 三三 三四 三五 三六 三七 三八 三九 四〇 四一 四二 四三 四四 四五 四六 四七 四八 四九 五〇 五一 五二 五三 五四 五五 五六 五七 五八 五九 六〇 六一 六二 六三 六四 六五 六六 六七 六八 六九 七〇 七一 七二 七三 七四 七五 七六 七七 七八 七九 八〇 八一 八二 八三 八四 八五 八六 八七 八八 八九 九〇 九一 九二 九三 九四 九五 九六 九七 九八 九九 一〇〇

二

一〇一 一〇二 一〇三 一〇四 一〇五 一〇六 一〇七 一〇八 一〇九 一一〇 一一一 一一二 一一三 一一四 一一五 一一六 一一七 一一八 一一九 一二〇 一二一 一二二 一二三 一二四 一二五 一二六 一二七 一二八 一二九 一三〇 一三一 一三二 一三三 一三四 一三五 一三六 一三七 一三八 一三九 一四〇 一四一 一四二 一四三 一四四 一四五 一四六 一四七 一四八 一四九 一五〇 一五一 一五二 一五三 一五四 一五五 一五六 一五七 一五八 一五九 一六〇 一六一 一六二 一六三 一六四 一六五 一六六 一六七 一六八 一六九 一七〇 一七一 一七二 一七三 一七四 一七五 一七六 一七七 一七八 一七九 一八〇 一八一 一八二 一八三 一八四 一八五 一八六 一八七 一八八 一八九 一九〇 一九一 一九二 一九三 一九四 一九五 一九六 一九七 一九八 一九九 二〇〇

〔三〕處分例

- 産業組合設立許可取消ノ件 一八三
- 購買組合ノ目的ニ關スル件 一八三
- 組合員ノ資格ニ關スル件 一八四
- 「獨立ノ生計」ノ意義ニ關スル件 一八四
- 法人カ組合ニ加入スル件 一八四
- 事務所ノ位置ニ關スル件 一八四
- 取次所ニ關スル件 一八五
- 出資拂込ニ關スル件 一八五
- 出資ノ第一回拂込金額ニ關スル件 一八五
- 出資第一回拂込金額ニ關スル件 一八五
- 産業組合法施行規則第五條ニ關スル件 一八六
- 組合員ノ出資口數減少ニ關スル件 一八六

- 出資一口ノ金額減少ニ依ル持分拂戻ノ件 一八七
- 準備金ノ用途ニ關スル件 一八七
- 聯合會ノ理事監事ニ關スル件 一八七
- 監事ノ被選資格ニ關スル件 一八八
- 理事ノ選舉區及選任方法ニ關スル件 一八八
- 監事ノ職務權限ニ關スル件 一八八
- 通常總會開會ニ關スル件 一八九
- 代理議決權制限ニ關スル件 一八九
- 書面表決ニ關スル件 一九〇
- 貸付金用途ニ關スル件 一九〇
- 監事カ組合ヨリ借入ヲ爲スノ件 一九〇
- 貯金獎勵ノ爲抽籤法ニ依リ割増金附與ニ關スル件 一九〇
- 加入豫約者ノ貯金ニ關スル件 一九〇
- 購買組合ニ於ケル肥料取扱ニ關スル件 一九一

- 購買組合カ其ノ組合員ニ供給スヘキ物品ニ關スル件 一九二
- 組合ニ備付タル物品ヲ組合員外ニ使用セシムル件 一九二
- 出資額ニ對スル特別配當ニ關スル件 一九二
- 貯金額ニ應シ特別配當ヲ爲スノ件 一九二
- 特別配當金ニ關スル件 一九二
- 保證責任組織ノ組合ニ於ケル保證ノ方法ニ關スル件 一九三
- 保證責任組織ノ組合ニ於ケル損失分擔ニ關スル規定ノ件 一九三
- 兼營組合ニ加入スル件 一九三
- 聯合會ノ設立及加入ニ關スル件 一九四
- 脱退ノ豫告ニ關スル件 一九四
- 「隱居」ヲ脱退ノ原因ト爲ス旨ノ定款ニ關スル件 一九四
- 脱退ノ禁止ニ關スル件 一九五
- 脱退事由ノ制限ニ關スル件 一九五
- 持分讓渡ノ承諾ニ關スル件 一九五

- 財産目錄ノ様式ニ關スル件 一九六
- 購買組合ノ事業執行ニ關スル件 一九六
- 産業組合解散命令ニ對スル訴願ノ件 一九七
- 産業組合カ稚蠶ノ共同飼育ヲ爲スノ件 一九七
- 産業組合聯合會ノ借入ヲ爲ス場合ニ其ノ所屬組合又ハ聯合會カ保證スルノ件 一九七
- 産業組合ノ理事及監事ノ資格ニ關スル件 一九八
- 酒釀造販賣購買生産組合設立ノ件 一九八
- 購買組合度量衡器販賣免許ノ件 一九九
- 産業組合ノ同業組合加入ニ關スル件 一九九
- 購買組合聯合會ヲ鹽元賣捌人ニ指定ノ件 一九九
- 産業組合設立上ノ疑義ノ件 二〇〇
- 産業組合ニ支配人ヲ置キ得ルヤ否ヤノ件 二〇〇

【追補】

農業倉庫業法實施ニ關スル件

附 録

産業組合模範定款

(附農業倉庫業務規程)

有限責任何々信用販賣組合定款(農業倉庫業ヲ營ムモノ)

何組合倉庫部農業倉庫業務規程

保證責任何々信用組合定款(市街地信用組合ニ關スルモノ)

産業組合關係法規目次 終

産業組合關係法規

産業組合中央會編纂

〔一〕産業組合ニ關スル法規

産業組合法

明治三十三年三月六日法律第三十四號  
(同年勅令第三百一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

改正

明治三十九年四月十八日法律第四十五號  
明治四十二年四月八日法律第二十七號  
大正六年七月二十日法律第二十二號

第一章 總 則

第一條

本法ニ於テ産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ

- 一 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合)

産業組合ニ關スル法規



二 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スル  
コト(販賣組合)

三 産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シ之ニ加工シ又ハ加工セスシ  
テ之ヲ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)

四 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ組合員ヲシテ産業ニ必要ナ  
ル設備ヲ利用セシムルコト(生産組合)

信用組合ハ組合員外ノ者ニシテ組合加入ノ豫約ヲ爲シタルモノノ出  
資一口ニ達スル迄ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必  
要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營  
利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

市又ハ主務大臣ノ指定スル市街地カ組合ノ區域ニ屬スル信用組合ハ  
定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ産業若ハ經濟ノ發達ニ必要  
ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ前二項ノ貯金ノ外組合ノ區域内

ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル貯金ハ有限責任組合ニ在リテハ出資總額及準備金  
其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計、保證責任組合ニ在リテハ之ニ保證金額  
ヲ加ヘタル合計、無限責任組合ニ在リテハ出資總額ノ五倍及準備金  
其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計ヲ超エ之ヲ受入ルルコトヲ得ス

第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ第一項第二號乃至第四  
號ノ事業ヲ兼スルコトヲ得ス

第二條 産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス  
無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能  
ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ、有限責  
任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負  
擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スル  
コト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額  
ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス  
第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用フ  
ヘシ

産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字  
ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商  
法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

第二章 設立

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主タル事務所所在地ノ地方長  
官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設  
立者之ニ署名捺印スヘシ

一 目的

二 名稱

三 組織

三ノ二 區域

四 事務所

五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

六 第一回拂込ノ金額

七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定

八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

九 組合員タル資格ニ關スル規定

十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定

十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由「  
信用組合ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市町村ノ區域内ニ

産業組合ニ關スル法規

於テ之ヲ定ムヘシ

第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ

出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク各組合員

ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ

登記ヲ爲スヘシ

第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ

一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項

二 設立許可ノ年月日

三 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ登

記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ノ記

載ハ變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨

ケス

第十六條 民法第四十五條第二項、第三項及第四十八條ノ規定ハ期間

ヲ除クノ外産業組合ニ之ヲ準用ス

民法第四十五條(第一項略ス)

法人ノ設立ハ其主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對

抗スルコトヲ得ス

法人ノ設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ一週間内ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

同第四十八條 法人カ其事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ一週間内ニ移轉ノ

登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコト

ヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其移轉ノミノ登記ヲ爲ス

コトヲ要ス

(民法第四十六條第一項ニハ設立ノ時登記ヲ爲スヘキ事項ヲ規定セリ)

産業組合ニ關スル法規

第十六條ノ二 第十二條ノ拂込アリタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出テ同時ニ組合原簿ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依ル届出及提出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ囑託シ且主タル事務所所在地ノ登記所ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ三 第十四條第一項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ變更ノ登記ヲ爲スヘキ事項ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ登記ノ事由カ地方長官ノ認可其ノ他ノ處分ニ因リテ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ登記ノ囑託ヲ爲スヘシ前項但書ノ場合亦同シ  
第十六條ノ四 組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル届出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラ

ス

地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト同時ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ五 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 出資ノ總口數
  - 二 拂込ミタル出資ノ總額
  - 三 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
  - 四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額
- 登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十四條第二項及第十五條ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ六 第十六條ノ三ノ規定ハ組合原簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ前條第一項第一號及第二號ニ掲ケタル事項竝組合員ノ氏名及住所ニ付テハ變更ノ生シタル事業年度

ノ終ヨリ二週間内ニ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

組合員ノ加入ノ場合ニ於テハ無限責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名及住所ヲ、保證責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ加入ノ日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ提出シ地方長官ハ遲滞ナク之ヲ主タル事務所所在地ノ登記所ニ送付スヘシ

第三章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

組合員ノ有スヘキ出資口數ハ三十口ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五十口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第四章 管理

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ  
組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 各組合員ノ氏名、住所
  - 二 各組合員ノ出資口數
  - 三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
  - 四 出資各口ノ取得ノ年月日
  - 五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額
- 第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ
- 組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得
- 第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ
- 第三十一條ノ二 産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

民法第四十四條第一項 法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

同第五十二條第二項 理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ法人ノ事務ハ理事ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス

同第五十三條 理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スルコトヲ得ス又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

同第五十四條 理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

同第五十五條 理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限リ特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

同第六十條 社團法人ノ理事ハ少クとも毎年一回社員ノ通常總會ヲ開クコトヲ要ス

同第六十一條第一項 社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

民法第五十九條 監事ノ職務左ノ如シ

- 一 法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト
- 二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト
- 三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス

組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ

産業組合ニ關スル法規

於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス。

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

民法第六十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

同第六十四條 總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

同第六十五條第一項 各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス  
同第六十六條 社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セス

第三十八條ノ二 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總代會ニ於テハ

解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ

之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議

ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少

産業組合ニ關スル法規



スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十六條ノ二 信用組合ハ第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ總額ノ四分ノ一以上ノ金額ヲ拂戻準備金トシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ管理スヘシ

前項ノ金額ハ事業年度ニ從ヒ毎六箇月末日現在ノ貯金總額ニ依リ之

ヲ定ム

第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ爲シタル者ハ第一項ノ拂戻準備金ノ上ニ先取特權ヲ有ス

第四十六條ノ三 有限責任又ハ保證責任ノ信用組合第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ニ關スル債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ各理事連帶シテ之ヲ辨濟スルノ責ニ任ス

前項ノ規定ニ依ル理事ノ責任ハ其ノ退任前ノ債務ニ付退任ノ登記後二箇年間仍存續ス

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第五章 加入及脱退

第四十九條 組合員ノ加入ハ無限責任組合ニ在リテハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

産業組合ニ關スル法規

前項ノ同意ニ付テハ組合ハ總組合員ニ對シ加入ニ異議アラハ二週間ヲ下ラサル一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ期間内ニ異議ヲ述ヘサル者ハ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハス組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ六箇月前ニ其ノ豫告ヲ爲スヘシ

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

- 一 組合員タル資格ノ喪失
- 二 死亡
- 三 破産
- 四 禁治産

### 五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ組合原簿ニ記載シタル後二箇年間責任ヲ負擔ス

前項ノ規定ニ依ル期間ハ總組合員ノ同意アルトキハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ延長シタル期間ハ第一項ノ規定ニ違背セサル限り之ヲ短縮スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

前三項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之ヲ準用ス

## 第六章 監督

第五十九條 産業組合ハ主務大臣、地方長官及郡長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事又ハ清算人ヲシテ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

監督官廳ハ組合清算ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合ニ對シ其ノ財産ノ供託ヲ命スルコトヲ得

第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ、理事、監事若ハ清算人ノ改選ヲ命シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

## 第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 組合ノ合併

四 組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ

五 組合ノ破産

第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合カ合併セムトスルトキ又ハ保證責任組合若ハ有限責任組合カ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキトキハ其ノ合併ニ付總會ノ同意アルコトヲ要ス

第六十三條 組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除ク外各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ二 合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作

成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル選任ニ之ヲ準用ス

第六十四條 第四十條及第四十一條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 總會ノ決議ニ因ル解散又ハ合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條 合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第六十八條 組合ハ總會ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ

産業組合ニ關スル法規

得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

民法第七十條 法人カ其債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ理事若クハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス  
前項ノ場合ニ於テ理事ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

### 第八章 清算

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十三條ノ二 清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十三條ノ三 重要ナル事由アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十四條 清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名、住所ヲ登記スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ清算人ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

第七十四條ノ二 清算終了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條 民法第七十三條、第七十四條及第七十八條乃至第八十一

條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

民法第七十三條 解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其清算ノ結了ニ至ルマテ尙ホ存續スルモノト看做ス

同第七十四條 法人カ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ト爲ル但定款若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

同第七十八條 清算人ノ職務左ノ如シ

- 一 現務ノ結了
- 二 債權ノ取立及債務ノ辨濟
- 三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

同第七十九條 清算人ハ其就職ノ日ヨリ二个月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス

清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

同第八十條 前條ノ期間後ニ申出テタル債權者ハ法人ノ債務完済ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡ササル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

同第八十一條 清算中ニ法人ノ財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破産管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終ハリタルモノトス  
本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第九章 産業組合聯合會及産業組合中央會

第七十六條 産業組合ハ左ノ目的ヲ以テ産業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

- 一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合聯合會)
- 二 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合聯合會)
- 三 所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ

産業組合ニ關スル法規

三 所屬組合ニ賣却スルコト(購買組合聯合會)

四 所屬組合カ其ノ組合員ニ利用セシムル設備ヲ所屬組合ニ供給スルコト(生産組合聯合會)

前項第一號ノ聯合會ニ在リテハ信用組合外ノ組合又ハ第二號乃至第四號ノ産業組合聯合會ヲ加入セシムルコトヲ得

第七十六條ノ二 信用組合聯合會ハ日本勸業銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行又ハ農工銀行ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲シタルトキハ信用組合聯合會ハ銀行ノ委任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 産業組合聯合會ハ社團法人トス

産業組合聯合會ノ組織ハ有限责任及保證責任ノ二種トス  
保證責任産業組合聯合會ノ所屬組合所及屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入シ

又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外道府縣ノ区域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル二箇以上ノ産業組合聯合會ヲ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

區域カ道府縣ノ區域ヲ超ユル産業組合聯合會ノ監督其ノ他ノ職務ハ其ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官之ヲ行フ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ  
産業組合聯合會設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第八十一條 産業組合聯合會ニハ本章ニ規定アルモノヲ除クノ外産業組合ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第七十九條第二項ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ登記スヘキ事項ノ届出、組合原簿ノ提出及送付並登記ノ囑託ニ關スル規定中地方長官トアルハ合併後存續スル産業組合聯合會又ハ合併ニ因リテ設立シタル産業組合聯合會ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官トス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得  
産業組合中央會ハ社團法人トス

産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウヘシ

産業組合中央會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ

示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トシ其ノ設立ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 名稱
- 二 事務所
- 三 會員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 四 會員ノ權利義務ニ關スル規定
- 五 資産ニ關スル規定



- 六 役員ニ關スル規定
  - 七 會議ニ關スル規定
  - 八 事業ノ執行ニ關スル規定
  - 九 定款ノ變更ニ關スル規定
  - 十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス
  - 第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ
- 登記スヘキ事項左ノ如シ
- 一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類
  - 二 第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲ケタル事項
  - 三 資産ノ總額
  - 四 設立許可ノ年月日
  - 五 理事及監事ノ氏名、住所

- 前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ  
登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
- 第十六條ノ三ノ規定ハ第一項及前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ同條中  
地方長官トアルハ主務大臣トス
- 第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ
- 第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事、監事及第八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ  
選任スヘシ
- 第九十條 産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨ  
リ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル
- 第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス
- 第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス
- 第九十二條 第三條、第五條乃至第七條、第十條、第十五條、第十六  
條、第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條乃至第三十五

條、第三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六十二條第一項第一號第二號第四號第五號、第六十三條、第六十五條、第六十九條乃至第七十五條、第八十條第二項、第九十三條ノ二及第九十四條並民法第六十二條及第六十四條ノ規定ハ産業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第六十五條、第七十三條ノ二及第七十三條ノ三中並第六十三條、第七十四條及第七十四條ノ二ニ於テ準用シタル第十六條ノ三中地方長官トアルハ主務大臣トス

第十章 罰則

第九十三條 組合ノ理事又ハ監事何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス組合ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付若ハ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合財産ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第九十三條ノ二 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五

圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラル

- 一 本法ニ定メタル届出若ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シ若ハ組合原簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
- 二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
- 四 第一條第五項、第四十三條、第四十五條乃至第四十六條ノ二、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 五 第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ
- 六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ

- 七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠  
リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
  - 八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ
  - 九 組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ
  - 十 第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違背シテ出資一口ノ金額若ハ  
組合員ノ保證金額ヲ減少シ、第五十八條ノ規定ニ依ル責任期間  
ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併若ハ組織變更ヲ爲シタルトキ
  - 十一 法令又ハ定款ニ違背シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ
- 民法第七十條ハ第六十九條、民法第七十九條及第八十一條ハ第七十五條ノ參照ニ出ツ
- 第九十四條** 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條  
ノ過料ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法第二百六條民法第八十四條、第一千七百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ  
商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、第五百三十六條及ヒ商  
法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第  
二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラル

ヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

**同第二百七條** 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力  
ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ  
其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審  
ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

**同第二百八條** 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務  
名義ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六篇ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ  
送達ヲ爲スコトヲ要セス

**附 則**

**第九十五條** 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

**第九十六條** 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又

産業組合ニ關スル法規

ハ其ノ出張所、産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

第九十七條 各登記所ニ産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及産業組合中央會登記簿ヲ備フ

第九十八條 登記ノ囑託ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス  
囑託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 産業組合、産業組合聯合會又ハ産業組合中央會ノ名稱及事務所
- 二 登記ノ目的及事由

三 年月日

四 登記所ノ表示

第九十九條 設立登記ノ囑託書ニハ定款及届書ヲ添附シ其ノ他ノ登記ノ囑託書ニハ届出ニ因ル場合ニ於テハ届書ヲ添附スヘシ

第一百條 削除

第一百一條 削除

第一百二條 削除

第一百三條 削除

第一百四條 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スヘシ但シ組合原簿ニ記載シタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一百五條 非訟事件手續法第三百三十八條、第三百三十八條ノ二、第四百十一條乃至第四百十六條、第四百十八條、第四百十八條ノ二、第五百五十一條乃至第五百五十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百五十八條、第六百六十五條及第六百七十五條ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法第三百三十八條 左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス

- 一 未成年者
- 二 禁治産者及ヒ準禁治産者
- 三 剥奪公権者及ヒ停止公権者
- 四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
- 五 破産者

産業組合ニ關スル法規

同第三百三十八條ノ二 第二百二十九條ノ三及ヒ第二百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所カ清算人ヲ選任シタル場合ニ之ヲ準用ス

(同第二百二十九條ノ三) 商法第二百二十四條又ハ第九十八條ノ規定ニ依リ裁判所カ検査役ヲ選任シタル場合ニ於テハ會社ヲシテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其額ハ取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽キ裁判所之ヲ定ム

(同第二百二十九條ノ四) 前二條ノ裁判所ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

同第四百一十一條 各登記所ニ各商業登記簿ノ見出帳ヲ備フ

同第四百一十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閲覧ヲ許シ又ハ手数料ヲ納付スルトキハ之ニ其謄本若クハ抄本ヲ交付スヘシ

登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疏明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其關係アル部分ニ限り登記簿ノ附屬書類ノ閲覧ヲ許スヘシ

郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付スヘシ

同第四百十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ爲スヘシ

同第四百十四條 登記シタル事項ノ公告ハ官報及ヒ新聞紙上ニ少クモ一回之ヲ爲スコトヲ要ス

公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及ヒ新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタルモノト看做ス

同第四百十五條 區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ヲ選定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙カ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ選定シ前項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

同第四百十六條 區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙ナシト認ムルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及ヒ其管轄内ノ市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得

同第四百十八條 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

同第四百十八條ノ二 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其抹消ヲ申請スルコトヲ得

同第四百十一條 登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セサルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス

同第四百十一條ノ二 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ産業組合ニ關スル法規

許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ一ヶ月ヲ超  
エサル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スヘシ  
登記ヲ爲シタル者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ登記事項ノ公告  
ト同一ノ方法ヲ以テ公告スヘシ

登記所ハ右ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

同第五十一條ノ三 異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其  
裁判ヲ爲スヘシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

同第五十一條ノ四 異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シタルトキハ  
登記所ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スヘシ

同第五十一條ノ五 前三條ノ規定ハ本店及支店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ノ登記  
ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テ爲シタル登記ニノミ之ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テ本店所在地ノ登記所カ抹消シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ支店  
所在地ノ登記所ニ通知スヘシ

支店所在地ノ登記所カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク登記ヲ抹消スヘシ

同第五十一條ノ六 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其ノ登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發  
見シタルトキハ遲滞ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ但其錯誤又ハ遺漏カ登

記所ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滞ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲  
スヘシ

同第五十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定  
ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

同第五十五條 司法大臣ハ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務ヲ其一登記  
所ニ委任スルコトヲ得

同第五十六條 登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

同第五十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條、  
第二十四條及ヒ第五十九條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

不動産登記法第十條 登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得サル事故ノ生シタ  
ルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得

同第十三條 登記官吏カ其職務ノ執行ニ付キ申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキ  
ハ其損害カ登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限り之ヲ賠  
償スル責ニ任ス

同第十八條 登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職  
印ヲ押捺シ且毎葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

同第二十條 登記簿、見出帳、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス  
申請書其他ノ附屬書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

同第二十二條 登記簿及ヒ其附屬書類ハ事變ヲ避ケル爲ニスル場合ヲ除ク外登記所  
外ニ持出スコトヲ得ス但第二十條第二項ニ掲ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ豫審

判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラス  
同第二十四條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ司法大臣ハ必要ナル  
處分ヲ命スルコトヲ得

同第五十八條 商號ノ登記ハ同市町村内ニ於テハ同一ノ營業ノ爲メ他人カ登記シタル  
モノト判然區別シ得ルトキニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

同第六十五條 登記所カ第五百一十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ商號ニ關スル登記ノ更  
正ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ

同第七十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄トス  
前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

第六六條 本法ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島ニ於テハ  
東京府知事、北海道ニ於テハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ  
島司之ヲ行フ

附 則 (大正六年法律第二十二號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正六年十月二十六日勅令第九十九號)  
號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行ス

本法施行前ニ登記シタル産業組合及産業組合聯合會ニシテ定款ニ區域  
ノ定アルモノニ付テハ地方長官ハ本法施行ノ日ヨリ三月内ニ區域ノ登  
記ヲ各事務所所在地ノ登記所ニ囑託スヘシ

市街地信用組合ノ拂戻準備金ノ管理ニ  
關スル件

大正六年十月二十六日  
勅令第二百一號

第一條 産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ハ  
左ノ方法ニ依ルヘシ

一 金錢又ハ有價證券ノ供託

二 郵便貯金法ニ依ル貯金又ハ有價證券保管

三 信用組合聯合會ヘノ貯金

前項第三號ノ貯金ハ拂戻準備金總額ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス  
第二條 前條ノ有價證券ノ種類ハ左ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

一 國債證券

二 地方債證券

三 貯蓄債券

四 勸業債券

五 日本興業銀行ノ債券

六 北海道拓殖銀行ノ債券

産業組合ニ關スル法規

七 農工債券

第三條 第一條ノ有價證券ノ見積價格ハ事業年度ニ從ヒ毎六月末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ事業年度ニ從ヒ六月毎ニ遲滯ナク第一條ノ規定ニ依ル管理ノ手續ヲ爲シ同法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ額ヲ記載シタル書面及管理ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨地方長官ニ届出ツヘシ

第五條 拂戻準備金ハ地方長官ノ承認ヲ受クルニ非サレハ之ヲ引出スコトヲ得ス

前項ノ承認ノ申請ハ其ノ事由ヲ具シタル書面ニ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ現在額並證券ヲ引出スモノニ在リテハ證券ノ種類、記號、番號、券面ノ金額及枚數ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ爲スヘシ

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合中央會ノ設立及事業ニ關スル件

明治四十二年八月二十日  
勅令第二百十三號

第一條 産業組合中央會ヲ設立セムトスル者ハ申請書ニ定款ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ發起ノ認可ヲ受クヘシ

第二條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ期限ヲ定メテ會員ヲ募集シ農商務大臣ノ認可ヲ得テ創立總會ヲ招集シ定款ヲ議定スヘシ  
前項定款ノ議定ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

第三條 創立總會ノ議決權ハ書面又ハ代理人ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得前項ノ規定ニ依リ議決權ヲ行フ者ハ之ヲ出席者ト看做ス

第四條 創立總會ヲ終リタルトキハ發起人ハ申請書ニ定款及創立總會ノ議決録ノ謄本ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ設立ノ許可ヲ受クヘシ

第五條 設立ノ許可アリタルトキハ發起人ハ其ノ事務ヲ理事ニ引繼クヘシ



第六條 産業組合中央會ハ産業組合法第八十二條第三項ニ依リ其ノ會  
員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ニ對シ同法第一條第一項第三號  
及第四號ノ事業ヲ行フコトヲ得但シ加工ニ關スル事業ニ付テハ此ノ  
限ニ在ラス

附 則

本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關

スル件

大正六年十月廿六日  
勅令第二百號

産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニシテ左ノ各號ノ一ニ關スルモノハ  
農商務大臣及大藏大臣協議シテ之ヲ行フ  
一 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ貯金ヲ取扱フ信用組合  
二 信用組合聯合會及産業組合中央會ノ事業中前號ノ信用組合ニ關

スル事業

前項ノ規定ハ樺太ニ付テハ之ヲ適用セス

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合法施行規則

明治四十二年八月二十一日  
農商務省令第三十五號  
改正大正六年十月二十七日農商務省令第三十號

第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲ス  
コトヲ得ス

前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之  
ヲ爲スコトヲ得

豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小  
額ト同額ニ達シタル後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス

豫約者カ豫約後三箇年ヲ經過シ尙ホ組合員ト爲ルニ至ラサルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ

第二條 出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラ

第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徴收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徴收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第六條 總代會ハ組合ニ在リテハ五百人以上ノ組合員、聯合會ニ在リ

テハ百以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第七條 産業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣毎ニ會員之ヲ選舉スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第八條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 組合、聯合會及中央會ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條ノ二 産業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員ノ貯金ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第九條ノ三 登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル屆書ニハ理事又ハ清算人署名捺印スヘシ  
前項ノ屆書ニハ受附ノ年月日ヲ記載スヘシ地方長官ニ於テ受理シタル組合原簿及聯合會原簿ニ付亦同シ

第九條ノ四 地方長官ニ提出スル組合原簿、聯合會原簿又ハ其ノ記載事項ノ變更ノ屆書ニハ記載事項又ハ其ノ變更ニ付監事ノ證明書ヲ添附スヘシ但シ組合員ノ氏、名又ハ住所ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
前項ノ規定ハ産業組合法第八十七條第二項第三號ノ事項ノ變更ノ屆書ニ之ヲ準用ス

第十條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ差出スヘシ

第十一條 組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
一 組合ニ在リテハ組合員ノ職業別ノ數並出資口數ノ異動、聯合會

ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ種類別ノ數並出資口數ノ異動

二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額

三 損益ノ計算並借入金及其ノ償還

三ノ二 準備金及各種ノ積立金

四 總會又ハ總代會ノ決議

五 事業ノ狀況

六 信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數並貯金及貸付金ノ利率、産業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合又

ハ購買組合聯合會ニ在リテハ購買又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、生産組合ニ在リテハ生産シタルモノノ種目別ノ數量又ハ加工若ハ利用ノ功程ヲ表示スヘキ事項、生産組合聯合會ニ在リテハ利用ノ功程ヲ表示スヘキ事項

六ノ二 産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ニ在リテハ其ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率

六ノ三 産業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合、組合員及組合員外ノ貯金ノ種類毎ニ職業別及金額別ノ口數、金額、組合員外ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率並拂戻準備金ノ管理方法別ノ金額

七 處務ノ要件

第十二條 組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎  
年總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議  
決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ一事業年度ニ於ケル一  
組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額又ハ手  
形ノ割引金額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ組合又ハ聯合會ニ在リ  
テハ地方長官ニ中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ遲滞ナク報告スヘシ  
第十二條ノ二 定款變更ノ認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ  
決議録ヲ添附スヘシ

第十二條ノ三 理事又ハ監事ノ變更ノ届書ニハ其ノ變更カ總會又ハ總  
代會ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ決議録、其ノ他ノ場合ニ在リ  
テハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十三條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第十

二條ノ二ニ掲ケタル書類ノ外財産目録、貸借對照表、産業組合法第四十條ノ規定ニ依リ公告及催告ヲ爲シタルコト竝同法第四十一條ノ規定ニ依リ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十四條 剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部又ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス  
持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六歩ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ年一割迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十四條ノ二 産業組合法第五十八條ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ同條第二項ノ場合ニ在リテハ理由書及總組合員ノ同意ヲ證スル書面、同條第三項ノ場合ニ在リテハ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十四條ノ三 産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四號ノ事由ニ

因ル解散ノ届書ニハ其ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十四條ノ四 總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議録、財産目録及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十五條 合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款竝産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附

シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脱退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十七條ノ二 第十二條ノ三ノ規定ハ清算人ノ選任及其ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ三 第十條ノ規定ハ清算人カ産業組合法第七十一條ノ規定ニ依ル承認ヲ經タル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ四 清算結了ノ届書ニハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添附スヘシ

第十八條 郡長又ハ郡長ノ職務ヲ行フヘキ者カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 地方長官カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依

リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十條 本則中農商務大臣トアルハ大正六年勅令第二百號ニ依リ農商務大臣及大藏大臣ノ所管ニ係ルモノニ付テハ農商務大臣及大藏大臣トス

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合法第一條ノ規定ニ依ル市街地

指定ノ件

大正六年十二月四日 農商務省告示第三百四十六號

産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地ヲ左ノ通り指定ス

- (北海道廳) 札幌區 小樽區 函館區 旭川區 室蘭町 釧路町
- 登川町 (東京府) 品川町 大森町 内藤新宿町 淀橋町 澁谷町

産業組合ニ關スル法規

南千住町 (京都府) 伏見町 (大阪府) 岸和田町 (神奈川縣) 小田原町 (兵庫縣) 西宮町 (埼玉縣) 川越町 熊谷町 浦和町 (群馬縣) 桐生町 (千葉縣) 千葉町 本銚子町 (栃木縣) 朽木町 足利町 (三重縣) 桑名町 (愛知縣) 一宮町 (滋賀縣) 彦根町 (岐阜縣) 大垣町 (長野縣) 上田町 (福島縣) 郡山町 (山形縣) 鶴岡町 酒田町 (秋田縣) 能代港町 (鳥取縣) 米子町 (岡山縣) 玉島町 (山口縣) 防府町 山口町 (和歌山縣) 新宮町 (福岡縣) 飯塚町 (大分縣) 別府町 白杵町 (宮崎縣) 宮崎町 都城町 (沖繩縣) 那霸區 首里區

臺灣ニ於ケル市街地ノ指定左ノ如シ

大正六年十一月二十二日  
臺灣總督告示第四百四十一號

(臺北廳) 大加蚋堡臺北城內 同堡艋舺 同堡大稻埕 基隆堡基隆街 (宜蘭廳) 本城堡宜蘭街 (新竹廳) 竹北一堡新竹街 (臺中廳)

臺中 線東堡彰化街 馬芝堡鹿港街 (嘉義廳) 嘉義西堡嘉義街 (臺南廳) 臺南市 大竹里打狗

臺灣產業組合規則 大正二年二月十日律令第二號

第一條 產業組合ニ關シテハ產業組合聯合會及產業組合中央會ニ關スル規定ヲ除クノ外產業組合法ニ依ル但シ同法中主務大臣又ハ地方長官トアルハ臺灣總督、郡長トアルハ廳長、區裁判所又ハ其ノ出張所トアルハ地方法院其ノ出張所又ハ登記所、市町村トアルハ區、大字又ハ字トアルハ街庄社トス

第二條 組合員ノ有スヘキ出資口數ハ特別ノ事由ニ依リ臺灣總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ限リ十口ヲ越スルコトヲ得

第三條 理事及監事ノ選任及解任ニ付テハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケヘシ

第四條 第二條ノ場合ニ於ケル組合員ノ表決權ニ付テハ特別ノ事由アルトキハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ定款ヲ以テ五口以上ヲ加フル毎ニ一箇ヲ増スノ規定ヲ設クルコトヲ得

第五條 剩餘金ハ組合員力其ノ出資ノ拂込ヲ終ラサルトキト雖臺灣總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ配當スルコトヲ得

附 則

產業組合ニ關スル法規

本令ハ大正二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

六四

大正二年二月八日  
勅令第五號

産業組合法第六條ノ規定ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

附則

本令ハ大正二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 臺灣産業組合規則施行規則

大正二年二月十日  
臺灣總督府令第十三號  
改正大正六年十一月二十二日  
臺灣總督府令第六十六號

第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ組合ニ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス  
前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得  
豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ト同額ニ達シタル後

ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス

豫約者カ豫約後三年ヲ經過シ尙組合員ト爲ルニ至ラサルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ

第二條 出資一口ノ金額ハ五十圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條 出資第一回ノ拂込金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徴收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徴收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第六條 總代会ハ五百人以上ノ組合員ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

第七條 總代会ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設ケヘシ  
理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代会ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第八條 組合ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 産業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員産業組合ニ關スル法規

六五



ノ貯金ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第十條 登記又ハ組合原簿ノ記載ニ關スル屆書ニハ理事又ハ清算人署名捺印スヘシ

前項ノ屆書ニハ受附ノ年月日ヲ記載スヘシ臺灣總督ニ於テ受理シタル組合原簿ニ付亦同シ

第十一條 臺灣總督ニ提出スル組合原簿又ハ其ノ記載事項ノ變更ノ屆書ニハ記載事項又ハ其

ノ變更ニ付監事ノ證明書ヲ添附スヘシ但シ組合員ノ氏、名又ハ住所ノ變更ニ付テハ此ノ限

ニ在ラス

第十二條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲

ケル書類ヲ臺灣總督ニ提出スヘシ

第十三條 組合ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 組合員ノ職業別ノ數並出資口數ノ異動
- 二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額
- 三 損益ノ計算並借入金及其ノ償還
- 四 準備金及各種ノ積立金
- 五 總會又ハ總代會ノ決議
- 六 事業ノ狀況
- 七 信用組合ニ在リテハ組合カ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員ノ數並貯金及貸付金ノ利率、産業組合法第一條第二

項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合ニ在リテハ購買又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、生産組合ニ在リテハ生産シタル物ノ種目別ノ數量又ハ加工若ハ利用ノ功程ヲ示スヘキ事項

八 産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ニ在リテハ其ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率

九 産業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合、組合員及組合員外ノ貯金ノ種類毎ニ職業別及金額別ノ口數、金額、組合員外ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率並拂戻準備金ノ管理方法別ノ金額

十 處務ノ要件

第十四條 組合カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎年總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合カ一事業年度ニ於ケル一組合員ニ對シテ爲ス貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ遲滞ナク臺灣總督ニ報告スヘシ

第十五條 定款變更並理事及監事ノ選任及解任ノ認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ産業組合ニ關スル法規

決議録ヲ添附スヘシ

第十六條 理事又ハ監事ノ變更ノ届書ニハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ但シ其ノ變更カ總會又ハ總代会ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ此ノ限りニ在ラス

第十七條 剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六歩ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ此ノ制限ヲ超ユルコトヲ得

第十八條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第十五條ニ掲ケタル書類ノ外財産目錄、貸借對照表、産業組合法第四十條ノ規定ニ依リ公告及催告ヲ爲シタルコト並同法第四十一條ノ規定ニ依リ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十九條 産業組合法第五十八條ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ同條第二項ノ場合ニ在リテハ理由書及總組合員ノ同意ヲ證スル書面、同條第三項ノ場合ニ在リテハ第十八條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第二十條 産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四號ノ事由ニ因ル解散ノ届書ニハ其ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第二十一條 總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議録、財産目錄及貸

借對照表ヲ添附スヘシ

第二十二條 合併ノ認可申請書ニハ第十八條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續スル組合ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款並産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第二十三條 組織變更ノ認可申請書ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ尙第十八條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第二十四條 清算人ノ變更及選任ノ届書ニハ其ノ變更カ總會又ハ總代会ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ決議録、其ノ他ノ場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第二十五條 第十二條ノ規定ハ清算人カ産業組合法第七十一條ノ規定ニ依ル承認ヲ經タル場合ニ合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 清算終了ノ届書ニハ總會又ハ總代会ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添附スヘシ

第二十七條 廳長カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ臺灣總督ノ指揮ヲ請フヘシ

附 則

産業組合ニ關スル法規

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

七〇

### 産業組合法ヲ樺太ニ施行スルノ件

大正四年五月二十八日  
勅令第八十八號

産業組合法ハ第九條第二項、第七十九條、第六六條及第六七條ノ規定竝産業組合中央會ニ關スル規定ヲ除キ之ヲ樺太ニ施行ス但シ登記又ハ届出ヲ爲スヘキ期間ハ之ヲ二倍トシ地方長官ノ職務ハ樺太廳長官、郡長ノ職務ハ樺太廳支廳長之ヲ行フ

### 産業組合登記取扱手續

明治四十二年八月十六日 司法省令第十七號  
改正大正二年五月二十二日 司法省令第二十二號  
改正大正六年十月二十七日 司法省令第八號

第一條 産業組合登記簿ハ附録第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之

ヲ調製スヘシ

第二條 産業組合聯合會登記簿ハ附録第一號雛形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 産業組合中央會登記簿ハ附録第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 産業組合登記見出帳ハ附録第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 産業組合登記受附帳ハ附録第四號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ

受附番號ハ一箇年毎ニ更新スヘシ

第六條 登記所ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

- 一 囑託書類綴込帳
- 二 決定原本綴込帳
- 三 抗告書類綴込帳

産業組合ニ關スル法規

七一

四 登記濟證交付帳

五 謄本抄本證明書交付帳

六 受領證原符元帳

第七條 前條ノ帳簿ハ一箇年毎ニ別冊ト爲スヘシ但シ分冊スルコトヲ妨ケス

第八條 組合原簿ハ附録第五號乃至第七號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

聯合會原簿ハ附録第五號雛形及第七號雛形ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第九條 組合原簿及聯合會原簿ニハ強靱ナル美濃紙ヲ用ウヘシ

第十條 組合原簿及聯合會原簿ニハ組合ノ代表者其ノ表紙ニ署名捺印シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第十一條 組合原簿及聯合會原簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

産業組合登記受附帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

決定原本綴込帳及抗告書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ  
登記濟證交付帳、謄本抄本證明書交付帳及受領證原符元帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十二條 産業組合登記又ハ組合原簿ノ記載ノ囑託書ニハ其ノ登記又ハ記載ニ關スル届書ノ外總會若ハ總代會ノ決議又ハ總組合員ノ同意ヲ要スル事項ニ付其ノ決議又ハ同意アリタルコト、産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十三條 命令ニ因ル解散ノ登記ノ囑託ニ付テハ登録稅ヲ要セス

第十四條 組合ノ區域ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第十五條 組合ノ事務所ノ移轉又ハ合併ニ因リ産業組合法第十四條第一項ニ定ムル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ

記載スヘシ

第十六條 主タル事務所ニ非サル事務所ノ廢止ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ但シ登記所ノ管轄内ニ他ノ事務所アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 理事又ハ監事ノ再選ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ登記スルヲ以テ足ル

第十八條 産業組合法第十六條ノ六第二項ノ組合原簿ハ前ニ送付ヲ受ケタル組合原簿ニ編綴シ登記官吏其ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第十九條 組合原簿ノ記載ノ變更ハ其ノ變更欄ニ之ヲ記載シ變更シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第二十條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ更正ヲ爲スニハ登記簿ノ記載ニ付テハ登記用紙中變更欄ニ、組合原簿ノ記載ニ付テハ原簿ノ表紙ノ裏面ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ登記官吏之ニ捺印スルヲ以テ足ル

第二十一條 組合原簿ニハ其ノ表紙ニ登記番號並受付ノ年月日及番號ヲ記載スヘシ

第二十二條 組合原簿ハ之ヲ合綴スルコトヲ得合綴シタル帳簿ニハ目錄ヲ附スヘシ

第二十三條 無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ甲部用紙中或變更欄ニ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其ノ組合原簿ニ甲部ノミノ繼續用紙ヲ編綴シ前用紙及繼續用紙ニ交互參看ノ記載ヲ爲スヘシ

前用紙中他ノ變更欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ記載スヘキ事項ニ付テハ仍之ニ記載ヲ爲スヘシ

第二十四條 前條ノ規定ハ無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ乙部用紙及有限責任組合原簿ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ繼續用紙ニハ組合員ノ氏名、住所保證責任組合ニ在リテハ保證金額ヲ移記スヘシ

第二十五條 清算終了ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第二十六條 産業組合聯合會ノ登記ノ囑託書其ノ他ノ書類ノ受附ニ關スル記載ハ産業組合登記受附帳ニ之ヲ爲スヘシ

第二十七條 産業組合聯合會ノ登記及産業組合聯合會原簿ノ記載ニ付テハ産業組合ノ登記及産業組合原簿ノ記載ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十八條 第十二條、第十三條、第十五條乃至第十七條、第二十條、第二十五條及第二十六條ノ規定ハ産業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十九條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第二十條乃至第二十四條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十八條、第三十九條、第四十七條及商業登記取扱手續第九條、第十條乃至第十三條、第十五條乃至第二十條、第二十三條乃至第二十八條、第二十九條乃至第三十三條、第四十四條、第四十四條ノ八乃至第四十六條、第四十九條ノ三ノ規定ハ産業組合、産業組合

聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス

不動産登記法施行細則第四條 登記簿及ヒ共同人名簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方裁判所長之ヲ交付スヘシ

登記所ハ翌年中ニ必要ナル帳簿ノ冊數及ヒ各冊ノ枚數ヲ見積リ毎年十一月中ニ請求ヲ爲スヘシ

豫定外ニ帳簿ノ必要ヲ生シタルトキハ臨時其請求ヲ爲スコトヲ得

同第五條 登記簿及ヒ共同人名簿ノ用紙ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ

同第二十條 事變ヲ避クル爲メ登記簿又ハ其附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

同第二十一條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其他ノ附屬書類ヲ送付スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其關係アル部分ニ限り之ヲ送付スヘシ

同第二十二條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其事由、年月日、滅失セシ登記簿ノ冊數其他不動産登記法第二十三條ノ告示ヲ爲スニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スヘシ但區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

地方裁判所長カ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申産業組合ニ關スル法規

ヲ爲スヘシ

(不動産登記法第二十三條)登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ三ヶ月ヨリ少カラサル期間ヲ定メ其期間内ニ登記ノ回復ヲ申請スル者ハ仍ホ其登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘキ旨ヲ告示スルコトヲ要ス

同第二十三條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ詳細其狀況ヲ取調ヘ且處分方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報又ハ具申ヲ爲スヘシ

同第二十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ノ認可ヲ受クヘシ但區裁判所出張所カ認可ヲ請フトキハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

同第三十三條 不動産登記法第二十一條第二項ノ郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

(不動産登記法第二十一條第二項)手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

同第三十四條 登記官吏カ第二十九條ノ申請書ヲ受取りタルトキハ受附帳ニ請求ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シタル上受附番號ノ順序ニ從ヒテ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

同第三十五條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其末尾ニ左ノ認

證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ捺捺スヘシ

此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ半紙紙ヲ用ユヘシ

同第三十五條ノ二 登記簿ノ謄本ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外登記簿一用紙ノ全部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ルヘシ但請求ニ因リ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫シテ之ヲ作ルコトヲ得此場合ニ於テハ認證文ニ其旨ヲ附記スヘシ

同第三十六條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スルトキハ謄本抄本交付帳ニ謄本又ハ抄本ノ區別數、交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ登記簿ノ謄本ヲ他ノ登記所ニ移送スル場合ニ之ヲ準用ス

同第三十七條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

同第三十八條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登録稅額ヲ記載スヘシ但登録稅法第二條第一項第一號乃至第十七號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スヘシ

登録稅法第十九條ノ五ノ場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外差稅額ヲ記載スヘシ

(登録稅法第二條第一項第一號乃至第十七號ハ不動産ニ關スル登記ヲ受クルニ必要ナル登録稅額ナルカ故ニ省略ス)

産業組合ニ關スル法規

同第三十九條 申請書カ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ノ契印ヲ以テ足ル

同第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取りタルトキハ遲滞ナク申請ニ關スル總テノ事項ヲ調査スヘシ

商業登記取扱手續第九條 申請書、囑託書、通知書、届書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本其他附屬書類ハ之ニ登記簿ノ冊數及ヒ其丁數ヲ記載シ受付番號ノ順序ニ依リテ申請書類綴込帳ニ之ヲ編綴スヘシ

登記簿ノ種類ニ依リ前項ノ綴込帳ヲ分冊シタルトキハ其表紙ニ登記簿ノ種類ヲ示スヘキ文字ヲ記載スヘシ

同第十條 登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽又ハ登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

同第十一條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ關係ヲ説明スルニ足ルヘキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其關係ヲ説明スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スヘシ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 閱覽セムト欲スル登記事項

三 登記所ノ表示

四 年月日

同第十二條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記事項
- 三 手数料ノ金額
- 四 登記所ノ表示
- 五 年月日

登記簿ノ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲモ記載スヘシ

同第十三條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通テ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項及ヒ年月日ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ  
登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

同第十五條 登記官吏カ申請書ヲ受取りタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的申請人ノ氏名、産業組合ニ關スル法規



(會社カ申請人ナルトキハ其商號)受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

同第十六條 申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

同第十七條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スヘシ

同第十八條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交叉スヘシ但後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲メ設ケタル欄ニ付テハ此限ニ在ラス

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其餘白ニ朱線ヲ交叉スヘシ

變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其左側ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

同第十九條 變更ノ登記又ハ登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正シタル登記事項ヲ朱抹スヘシ

同第十九條ノ二 抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ抹消スヘキ登記事項ヲ朱抹スヘシ但抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スヘキ場合ハ此限ニ在ラス

同第二十條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スヘシ

同第二十三條 非訟事件手續法第四百十八條(既出)ノ規定ニ依リ登記ノ更正ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

同第二十四條 登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコト竝ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字竝ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ  
前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

同第二十五條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用ユヘシ  
文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スヘシ

同第二十六條 登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

同第二十七條 登記ノ申請人ハ登記濟證ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

産業組合ニ關スル法規

登記官吏カ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ附錄第十三號雛形ニ依リ登記濟證ヲ交付スヘシ

同第二十八條 商業登記簿ノ見出帳ニハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨリスノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

同第二十九條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳中備考欄ニ其事由ヲ記載シテ其見出ヲ朱抹スヘシ

同第三十條 商號ノ變更又ハ未成年者、妻、法定代理人若クハ支配人ノ氏名ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中更ニ相當ノ部ニ其見出ヲ移シ前ノ見出ノ備考欄ニ第何冊第何丁ニ移シタル旨ヲ記載シテ其見出ヲ朱抹スヘシ

同第三十一條 甲登記所ノ管轄地ノ一部カ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其部分ニ屬スル登記簿又ハ其謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スヘシ但登記簿ノ謄本ニハ現在セル登記ノミヲ謄寫スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉出シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

同第三十二條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及附屬書類又ハ其謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移スヘシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉入シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

同第三十三條 會社ノ商號ハ商號登記簿ニ登記スルコトヲ要セス  
同第四十四條 會社カ其本店又ハ支店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ本店又ハ他ノ支店アル場合ニハ之ヲ適用セス  
同第四十四條ノ八 非訟事件手續法第一百五十一條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ爲シタル事件ノ表示及ヒ其登記カ商法又ハ非訟事件手續法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ記載スヘシ

同第四十四條ノ九 非訟事件手續法第一百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其事由ヲ記載スヘシ

同第四十四條ノ十 非訟事件手續法第一百五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及ヒ許可ノ年月日ヲ記載スヘシ

同第四十五條 會社登記簿ニ清算結了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ  
同第四十六條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏カ書類ノ原本ヲ還附スルトキハ其謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ  
同第四十九條ノ三 登記官吏カ其職務上過料ニ處セラルヘキ者アルコトヲ知リタルトキ  
ハ遲滞ナク其事件ヲ管轄地方裁判所長ニ通知スヘシ

附 則

本令ハ大正六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年司法省令第十七號産業組合登記取扱手續第五十一條乃至  
第五十三條ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス但シ届出及組合原簿ノ送付ニ付  
テハ本令ノ規定ニ依ル

本令施行前ニ生シタル事項ニシテ未タ登記ノ手續ヲ經サルモノニ付テ  
ハ本令ヲ適用ス

従前ノ印鑑簿ハ適宜之ヲ廢毀スヘシ

參照 明治四十二年司法省令第十七號産業組合登記取扱手續第五十一條乃至第五十三條ノ  
規定ハ次ノ如シ

第五十一條 本令施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタル組合カ産業組合法第十五條第一項第一號  
及第二號ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場

合ニ於テハ更ニ本令ニ定メタル組合原簿ヲ差出スヘシ

前項ノ組合原簿ニハ變更前ノ出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額ヲ記載スヘシ

第五十二條 本令施行前ニ登記シタル事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲  
スヘシ

第五十三條 本令施行前ニ調製シタル産業組合登記簿ハ既ニ登記ヲ爲シタルモノナルト否  
トヲ問ハス當分ノ内其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得

産業組合ニ關スル法規

更	變	更	變
更	變	更	變

更	變	更	變
更	變	更	變

八九

附錄第一號

産業組合登記簿

區裁判所

地方裁判所長

紙數表紙ヲ除キ 枚

二十		一十	十	九	六		五	四	三	二	一	登記ノ第一號	
住氏人清 所名ノ算		月由及 日及年	散期ノ 事由	存立ノ 時	所名ノ監 住氏事		六 出資ノ 金額	五 設立ノ 年月日	四 目 的	三 事 務 所	二 組 織	一 名 稱	登記ノ第一號 年月日 官印 年月日
年月日登記		年月日登記			備 豫								年月日登記
							八 所名ノ理 住氏事		七 法ノ拂出 方込資				

八八

産業組合ニ關スル法規

更	變	更	變
更	變	更	變

更	變	更	變
更	變	更	變

九一

紙數表紙ヲ除キ  
枚  
地方裁判所長

附錄第二號  
産業組合中央會登記簿  
區裁判所

備 豫		一十	十	九	六	五	四	三	二	一	登記ノ第一欄 年月日 登記ノ第二欄 年月日 登記ノ第三欄 年月日 登記ノ第四欄 年月日
住氏人清 所名ノ算 年月日登記		月日及年 由及七 事由	散期又ハ ノ事由 解時	存立ノ時 期又ハ ノ事由	總額ノ 額ノ	設立許可 年月日	種業ノ 類ノ	目的	事務所	一名稱	登記ノ第一欄 年月日 登記ノ第二欄 年月日 登記ノ第三欄 年月日 登記ノ第四欄 年月日
備 豫		備 豫			八		七				
					所名ノ監 住氏事		所名ノ理 住氏事				

九〇



附錄第六號

無限責任何々組合ノ稱組合原簿

部 甲

更	變	更	變	出資ノ總額	稱名
更	變	更	變	出資ノ總額	

附錄第五號

有限責任何々組合ノ稱組合原簿

更	變	更	變	出資ノ總額	稱名
更	變	更	變	出資ノ總額	

部 甲			
更	變	更	變
		出賣ノ日數	稱名
		拂込ミル總額	
			丁

部 乙			
更	變	更	變
		組合員ノ氏名住所	組合員ノ氏名住所
		保證金額	保證金額
			丁

部 乙			
更	變	更	變
		組合員ノ氏名住所	組合員ノ氏名住所
			丁

附錄第七號  
保證責任何々名組合ノ稱組合原簿



### 産業組合登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ 請求等ニ關スル手数料ノ件

明治三十三年七月二十三日司法省令第三十號  
明治四十二年八月十六日司法省令第十八號改正

産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及ヒ産業組合中央會登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

明治三十二年司法省令第十四號第一條 不動産登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第百四十二條(既出)ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其ノ用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

同第三條 非訟事件手續法第四百三十三條(既出)ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スルモノハ每一件手数料金十錢ヲ納ムヘシ

同第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付キ登記簿ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金五錢ヲ納ムヘシ

同第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

同第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其ノ職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス  
本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 産業組合ニ關スル登記ヲ取扱フ登記所ノ 件

明治三十三年七月十四日  
司法省令第二十四號

産業組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱ハシム

### 農業倉庫業法

大正六年七月二十日法律第十五號  
同年九月一日ヨリ施行

第一條 本法ニ於テ農業倉庫業者トハ農業ヲ營ム者カ其ノ生産シタル穀物若ハ繭ヲ、又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者カ小作料トシテ受ケタル穀物ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ

産業組合ニ關スル法規

前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間内ニ限り之ヲ保管スルコトヲ得  
農業倉庫業者ハ他ノ農業倉庫業者カ前二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ保管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前三項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ前三項ノ規定ニ依ラス物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

第二條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左ノ事業ヲ爲スコトヲ得

- 一 受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ヲ爲スコト
- 二 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト
- 四 自己ノ作成シタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
- 五 他ノ農業倉庫業者カ擔保トシテ受取リタル農業倉庫證券ヲ擔保

トシテ貸付ヲ爲スコト

第三條 農業倉庫業者ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 産業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人並市町村及之ニ準スヘキモノニ非サレハ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第五條 産業組合カ農業倉庫業者タルトキハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得  
産業組合ハ組合員ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ組合員ニ非サル者ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號及第五號ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

農會又ハ公益法人カ農業倉庫業者タルトキハ第二條第四號及第五號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 農業倉庫業者タラムトスル者ハ業務規程ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及品位ノ同一

産業組合ニ關スル法規

ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第八條 農業倉庫業者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ

農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非サル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券

ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ農業倉庫證券ニ其ノ

旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十條 寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項又ハ第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新

スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同條第一項又ハ第三項ニ掲タル

者タルコトヲ要シ其ノ期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條第四項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項乃至第三項ノ規

定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り保管期間ヲ更新スルコトヲ得其

ノ期間ハ前項但書ニ同シ

第十一條 商法第三編第五章乃至第七章及第九章第二節ハ本法ニ別段

ノ定アル場合ヲ除クノ外農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

商法第三編 商 行 爲

第五節 仲立營業

第三百五條 仲立人トハ他人間ノ商行爲ノ媒介ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百六條 仲立人ハ其媒介シタル行爲ニ付キ當事者ノ爲メニ支拂其他ノ給付ヲ受クルコ

トヲ得ス但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七條 仲立人カ其媒介スル行爲ニ付キ見本ヲ受取リタルトキハ其行爲カ完了スルマ

テ之ヲ保管スルコトヲ要ス

第三百八條 當事者間ニ於テ行爲カ成立シタルトキハ仲立人ハ遲滯ナク各當事者ノ氏名又

ハ商號、行爲ノ年月日及ヒ其要領ヲ記載シタル書面ヲ作り署名ノ後之ヲ各當事者ニ交付

スルコトヲ要ス

當事者カ直チニ履行ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外仲立人ハ各當事者ヲシテ前項ノ書面ニ署名

セシメタル後之ヲ其相手方ニ交付スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テ當事者ノ一ナカ書面ヲ受領セス又ハ之ニ署名セサルトキハ仲立人ハ

遲滯ナク相手方ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三百九條 仲立人ハ其帳簿ニ前條第一項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス  
當事者ハ何時ニテモ仲立人カ自己ノ爲メニ媒介シタル行爲ニ付キ其帳簿ノ謄本ノ交付ヲ  
請求スルコトヲ得

第三百十條 當事者カ其氏名又ハ商號ヲ相手方ニ示ササルヘキ旨ヲ仲立人ニ命シタルトキ  
ハ仲立人ハ第三百八條第一項ノ書面及ヒ前條第二項ノ謄本ニ其氏名又ハ商號ヲ記載スル  
コトヲ得ス

第三百十一條 仲立人カ當事者ノ一方ノ氏名又ハ商號ヲ其相手方ニ示ササリシトキハ之ニ  
對シテ自ラ履行ヲ爲ス責ニ任ス

第三百十二條 仲立人ハ第三百八條ノ手續ヲ終リタル後ニ非サレハ報酬ヲ請求スルコトヲ  
得ス

仲立人ノ報酬ハ當事者双方平分シテ之ヲ負擔ス

第六章 問屋營業

第三百十三條 問屋トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スヲ業トス  
ル者ヲ謂フ

第三百十四條 問屋ハ他人ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ因リ相手方ニ對シテ自ラ權利  
ヲ得義務ヲ負フ

問屋ト委託者トノ間ニ於テハ本章ノ規定ノ外委任及代理ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百十五條 問屋ハ委託者ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ付相手方カ其債務ヲ履行セ  
サル場合ニ於テ自ラ其履行ヲ爲ス責ニ任ス但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ  
在ラス

第三百十六條 問屋カ委託者ノ指定シタル金額ヨリ廉價ニテ販賣ヲ爲シ又ハ高價ニテ買入  
ヲ爲シタル場合ニ於テ自ラ其差額ヲ負擔スルトキハ其販賣又ハ買入ハ委託者ニ對シテ其  
效力ヲ生ス

第三百十七條 問屋カ取引所ノ相場アル物品ノ販賣又ハ買入ノ委託ヲ受ケタルトキハ自ラ  
買主又ハ賣主ト爲ルコトヲ得此場合ニ於テハ賣買ノ代價ハ問屋カ買主又ハ賣主ト爲リタ  
ルコトノ通知ヲ發シタル時ニ於ケル取引所ノ相場ニ依リテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テモ問屋ハ委託者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第三百十八條 問屋カ買入ノ委託ヲ受ケタル場合ニ於テ委託者カ買入レタル物品ヲ受取ル  
コトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ第二百八十六條ノ規定ヲ準用ス

(第二百八十六條) 商人間ノ賣買ニ於テ買主カ其目的物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受  
取ルコト能ハサルトキハ賣主ハ其物ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲シタル  
後之ヲ競賣スルコトヲ得此場合ニ於テハ遲滞ナク買主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ  
要ス

損敗シ易キ物ハ前項ノ催告ヲ爲サスシテ之ヲ競賣スルコトヲ得

産業組合ニ關スル法規

前二項ノ規定ニ依リ賣主カ賣買ノ目的物ヲ競賣シタルトキハ其代價ヲ供託スルコトヲ要ス但其全部又ハ一部ヲ代金ニ充當スルコトヲ妨ケス

第三百十九條 第三十七條及第四十一條ノ規定ハ問屋ニ之ヲ準用ス

(第三十七條) 代理商カ商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク本人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

(第四十一條) 代理商ハ商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルニ因リテ生シタル債權ニ付キ本人ノ爲メニ占有スル物又ハ有價證券ヲ留置スルコトヲ得但別段ノ意思表示アリタルトキハ此限ニ在ラス

第三百二十條 本章ノ規定ハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ販賣又ハ買入ニ非サル行爲ヲ爲スヲ業トスル者ニ之ヲ準用ス

第七章 運送取扱營業

第三百二十一條 運送取扱人トハ自己ノ名ヲ以テ物品運送ノ取次ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

運送取扱人ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外問屋ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百二十二條 運送取扱人ハ自己又ハ其使用人カ運送品ノ受取、引渡、保管、運送人又ハ他ノ運送取扱人ノ選擇其他運送ニ關スル注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百二十三條 運送取扱人カ運送品ヲ運送人ニ引渡シタルトキハ直チニ其報酬ヲ請求スルコトヲ得

運送取扱契約ヲ以テ運送賃ノ額ヲ定メタルトキハ運送取扱人ハ特約アルニ非サレハ別ニ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百二十四條 運送取扱人ハ運送品ニ關シ受取ルヘキ報酬、運送賃其他委託者ノ爲メニ爲シタル立替又ハ前貸ニ付テノミ其運送品ヲ留置スルコトヲ得

第三百二十五條 數人相次テ運送ノ取次ヲ爲ス場合ニ於テハ後者ハ前者ニ代ハリテ其權利ヲ行使スル義務ヲ負フ

前項ノ場合ニ於テ後者カ前者ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ前者ノ權利ヲ取得ス

第三百二十六條 運送取扱人カ運送人ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ運送人ノ權利ヲ取得ス

第三百二十七條 運送取扱人ハ特約ナキトキハ自ラ運送ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ運送取扱人ハ運送人ト同一ノ權利義務ヲ有ス

運送取扱人カ委託者ノ請求ニ因リテ貨物引換證ヲ作りタルトキハ自ラ運送ヲ爲スモノト看做ス

第三百二十八條 運送取扱人ノ責任ハ荷受人カ運送品ヲ受取リタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ運送品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ其引渡アルヘカリシ日ヨリ之ヲ起算ス

産業組合ニ關スル法規

前二項ノ規定ハ運送取扱人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス  
第三百二十九條 運送取扱人ノ委託者又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三百三十條 第三百三十八條及ヒ第三百四十三條ノ規定ハ運送取扱營業ニ之ヲ準用ス  
(第三百二十八條) 貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付テハ荷受人カ運送ヲ委託スルニ當  
タリ其種類及ヒ價額ヲ明告シタルニ非サレハ運送人ハ損害賠償ノ責ニ任セス  
(第三百四十三條) 運送品カ到達地ニ達シタル後ハ荷受人ハ運送契約ニ因リテ生シタル

荷受人ノ權利ヲ取得ス

荷受人カ運送品ヲ受取リタル時ハ運送人ニ對シ運送貨其他ノ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第九章 寄託 第二節 倉庫營業

第三百五十七條 倉庫營業者トハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ業トスル者ヲ謂フ  
第三百五十八條 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ預證券及ヒ質入證券ヲ交付ス  
ルコトヲ要ス

第三百五十九條 預證券及ヒ質入證券ニハ左ノ事項及ヒ番號ヲ記載シ倉庫營業者之ニ署名  
スルコトヲ要ス

- 一 受寄物ノ種類、品質、數量及ヒ其荷造ノ種類、個數並ニ記號
- 二 寄託者ノ氏名又ハ商號

三 保管ノ場所

四 保管料

五 保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間

六 受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號

七 證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日  
第三百六十條 倉庫營業者カ預證券及ヒ質入證券ヲ寄託者ニ交付シタルトキハ其帳簿ニ  
左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 前條第一號、第二號及ヒ第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項
- 二 證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日

第三百六十一條 預證券及ヒ質入證券ノ所持人ハ倉庫營業者ニ對シ寄託物ヲ分割シ且其各  
部分ニ對スル預證券及ヒ質入證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ所持人ハ  
前ノ預證券及ヒ質入證券ヲ倉庫營業者ニ返還スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル寄託物ノ分割及ヒ證券ノ交付ニ關スル費用ハ所持人之ヲ負擔ス  
第三百六十二條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト  
所持人トノ間ニ於テハ其證券ノ定ムル所ニ依ル

第三百六十三條 (削 除)

第三百六十四條 預證券及ヒ質入證券ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡シ

産業組合ニ關スル法規

又ハ之ヲ質入スルコトヲ得但證券ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラズ  
預證券ノ所持人カ未ダ質入ヲ爲ササル間ハ預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スルコ  
トヲ得ス

第三百六十五條 第三百三十四條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ規定ハ預證券及ヒ質入證券ニ  
之ヲ準用ス

(第三百三十四條ノ二) 貨物引換證ヲ作りタルトキハ運送品ニ關スル處分ハ貨物引換證  
ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

(第三百三十五條) 貨物引換證ニ依リ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘキ者ニ貨物引換證ヲ引  
渡シタルトキハ其引渡ハ運送品ノ上ニ行使スル權利ノ取得ニ付キ運送品ノ引渡ト同一  
ノ效力ヲ有ス

第三百六十六條 預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ其所持人ハ相當ノ擔保ヲ供シテ  
更ニ其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ倉庫營業者ハ其旨ヲ帳簿ニ記載ス  
ルコトヲ要ス

第三百六十七條 質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニハ債權額、其利息及ヒ辨濟期ヲ記載  
スルコトヲ要ス

第一ノ質權者カ前項ニ掲ケタル事項ヲ預證券ニ記載シテ之ニ署名スルニ非サレハ質權ヲ  
以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百六十七條ノ二 預證券ノ所持人ハ寄託物ヲ以テ預證券ニ記載シタル債權額及ヒ利息  
ヲ辨濟スル義務ヲ負フ

第三百六十七條ノ三 質入證券所持人ノ債權ノ辨濟ハ倉庫營業者ノ營業所ニ於テ之ヲ爲ス  
コトヲ要ス

第三百六十八條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ手形ニ關スル規  
定ニ從ヒテ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第三百六十九條 質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サ  
レハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條 倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ競賣ニ關スル費用、受寄物ニ課スヘキ租  
稅、保管料其他保管ニ關スル費用及ヒ立替金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券ト引換ニ  
其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

競賣代金ノ中ヨリ前項ニ揚ケタル費用、租稅、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債  
權額、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シタル後餘剩アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證  
券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百七十一條 競賣代金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ全部ヲ辨濟スルコト能ハサ  
リシトキハ倉庫營業者ハ其支拂ヒタル金額ヲ質入證券ニ記載シテ其證券ヲ返還シ且其旨  
ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

産業組合ニ關スル法規

第三百七十二條 質入證券ノ所持人ハ先ツ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ尙ホ不足アルトキハ其ノ裏書人ニ對シテ不足額ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十七條ノ二乃至第四百八十八條ノ四、第四百九十一條、第四百九十二條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ前項ニ定メタル不足額ノ請求ニ之ヲ準用ス

(第四百八十七條ノ二) 前條第一項ノ場合ニ於テハ所持人ハ其直接ノ前者ニ對シ拒絶證書作成ノ日又ハ其後二日內ニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

(第四百八十八條) 裏書人カ其後者ヨリ償還請求ノ通知ヲ受ケタルトキハ其直接ノ前者ニ對シ通知ヲ受ケタル日又ハ其後二日內ニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

(第四百八十八條ノ二) 所持人又ハ裏書人カ其直接ノ前者ニ非サル前者ニ對シテ償還請求ノ通知ヲ發シタルトキハ其後者ニ對シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任シ且利息及ヒ費用ノ償還ヲ請求スル權利ヲ失フ

所持人又ハ裏書人カ其前者ノ何レニ對シテモ通知ヲ發セザリシトキハ其前者全員ニ對スル權利義務ニ付キ前項ノ規定ヲ準用ス

(第四百八十八條ノ三) 裏書人カ裏書ヲ爲スニ當タリ裏書地ヲ記載セザリシトキハ償還請求ノ通知ハ其直接ノ前者ニ對シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

前條ノ規定ハ裏書地ヲ記載セザリシ裏書人ニ對スル權利義務ニハ之ヲ適用セス振出人カ振出地ヲ記載セザリシトキ亦同シ

(第四百八十八條ノ四) 所持人又ハ裏書人カ其前者ニ對シ第四百八十七條ノ二又ハ第四百八十八條ノ期間內ニ書面ヲ發送シタル事實アルトキハ其事實ニ付キ通信官署又ハ公衆通信取扱所ノ證アル場合ニ限り其書面ハ之ヲ償還請求ノ通知書ト推定ス

(第四百九十一條) 爲替手形ノ所持人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

- 一 支拂アラザリシ手形金額及ヒ滿期日以後ノ法定利息
- 二 拒絶證書作成ノ手数料其他ノ費用

前項ノ金額ハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ營業所又ハ住所ノ所在地カ支拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ償還ノ請求ヲ受クル者ノ營業所又ハ住所ノ所在地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於テ其相場ナキトキハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ營業所又ハ住所ノ所在地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依ル

(第四百九十二條) 償還ノ請求ヲ受ケタル裏書人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

- 一 其支拂ヒタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ法定利息
- 二 其支出シタル費用

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

(第四百九十五條) 償還ハ爲替手形、支拂拒絶證書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ之

産業組合ニ關スル法規



ヲ爲スコトヲ要セス

償還ヲ爲ス者ハ之ヲ受クル者ヲシテ償還計算書ニ償還ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得

第三百七十三條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セサリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百七十四條 質入證券所持人ノ預證券所持人ニ對スル請求權ハ辨濟期ヨリ一年質入證券裏書人ニ對スル請求權ハ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケタル日ヨリ六個月質入證券裏書人ノ其前者ニ對スル請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三百七十五條 寄託者又ハ預證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢若クハ其見本ノ摘出ヲ求メ又ハ其保存ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得  
質入證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢ヲ求ムルコトヲ得

第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニアラサレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス  
第三百七十七條 倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ保管料及ヒ立替金其他受寄物ニ

關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス但受寄物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ割合ニ應ジテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十八條 當事者カ保管ノ期間ヲ定メサリシトキハ倉庫營業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六個月ヲ經過シタル後ニ非サレハ其返還ヲ爲スコトヲ得ス但己ムヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十九條 預證券及ヒ質入證券ヲ作リタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十條 預證券ノ所持人ハ質入證券ニ記載シタル債權ノ辨濟期前ト雖モ其債權ノ全額及ヒ辨濟期迄ノ利息ヲ倉庫營業者ニ供託シテ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十一條 寄託物カ同種類ニシテ同一ノ品質ヲ有シ且分割スルコトヲ得ヘキ物ナルトキハ預證券ノ所持人ハ債權額ノ一部及ヒ其辨濟期マテノ利息ヲ供託シ其割合ニ應ジテ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ倉庫營業者ハ供託ヲ受ケタル金額及ヒ返還シタル寄託物ノ數量ヲ預證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス  
前項ニ定メタル寄託物ノ一部出庫ニ關スル費用ハ預證券ノ所持人之ヲ負擔ス

第三百八十二條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百八十三條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百八十四條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百八十五條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百八十六條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百八十七條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百八十八條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百八十九條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十一條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十二條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十三條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十四條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十五條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十六條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十七條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十八條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第三百九十九條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス  
第四百條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

産業組合ニ關スル法規

第三百八十一條 第二百八十六條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ寄託者又ハ預證券ノ所持人カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ競賣代金ノ上ニ存在ス

第三百七十條及ヒ第三百七十一條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十二條 第三百四十八條ノ規定ハ倉庫營業者ニ之ヲ準用ス

(第三百四十八條) 運送人ノ責任ハ荷受人カ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取り且運送賃

其他ノ費用ヲ支拂ヒタルトキハ消滅ス但運送品ニ直チニ發見スルコト能ハサル毀損又

ハ一部滅失アリタル場合ニ於テ荷受人カ引渡ノ日ヨリ二週間内ニ運送人ニ對シテ其通

知ヲ發シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ運送人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百八十三條 寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル倉庫營業者ノ責任ハ出庫ノ日ヨ

リ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ寄託物ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ倉庫營業者カ預證券ノ所持人、若シ其所

持人カ知レサルトキハ寄託者ニ對シテ其滅失ノ通知ヲ發シタル日ヨリ之ヲ起算ス

前二項ノ規定ハ倉庫營業者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百八十三條ノ二 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求アルトキハ預證券及ヒ質入證券ニ代ヘテ

倉庫證券ヲ交付スルコトヲ要ス

倉庫證券ニハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百八十三條ノ三 倉庫證券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ質權者ノ承諾アル

トキハ寄託者ハ債權ノ辨濟期前ト雖モ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ

於テ倉庫營業者ハ返還シタル寄託物ノ種類、品質及ヒ數量ヲ倉庫證券ニ記載シ且其旨ヲ

帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第十二條 商法第三百七十六條ノ規定ハ受寄物ノ調製、改裝又ハ荷造

ニ關シ農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

商法第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラサ

リシコトヲ證明スルニ非サレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第十三條 農業倉庫業者業務規程ヲ變更セムトスルトキハ行政官廳ノ

認可ヲ受クヘシ

第十四條 農業倉庫業者ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

第十五條 行政官廳公益上必要ト認ムルトキハ農業倉庫業者ニ對シ其

ノ指定スル穀物又ハ繭ノ寄託ヲ受ケ、受寄物ノ検査其ノ他ノ行爲ヲ

爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

産業組合ニ關スル法規

第十六條 行政官廳ハ農業倉庫業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 行政官廳農業倉庫業者ノ業務執行若ハ財産ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ、農業倉庫業者ノ行爲カ法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ其ノ行爲カ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 農業倉庫業者タル法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者本法又ハ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法第二百六條 民法第八十四條、第一千七百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、第五百三十六條及ヒ民法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、

第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラレヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ  
當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス  
抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス  
過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正六年八月十八日勅令第百十號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

### 農業倉庫業法施行規則

大正六年八月十五日  
農商務省令第十五號

第一條 農業倉庫業ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シ

タル書面ヲ添附スヘシ

- 一 申請ノ理由
- 二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
- 三 倉庫ノ所在地
- 四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容力並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項
- 五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナリヤ否ヤノ別及所有ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項
- 六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ヤノ別並新ニ建築、改築又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣工ノ豫定期日及既設ノモノニ付テハ建築ノ時期

七 附屬ノ設備ニ關スル事項

八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其ノ調達方法

九 起業費及一箇年ノ收支概算

十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫業開始ノ決定ヲ要スルモノニ在

リテハ其ノ決定ヲ證スル書面

十一 公益法人ニ在リテハ定款又ハ寄附行爲及財産目錄

第二條 業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨
- 二 保管スヘキ物品ノ名稱
- 三 農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第四項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位

産業組合ニ關スル法規

- 四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業
- 五 保管料ニ關スル規定
- 六 保管期間ニ關スル規定
- 七 他ノ農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨及寄託スヘキ農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ノ名稱
- 八 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
- 九 證券發行ニ關スル規定
- 十 保險ニ關スル定アルモノニ付テハ之ニ關スル規定
- 十一 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定
- 十二 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十三 農業倉庫業法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十四 産業組合ニ於テ組合員ニ非サル者ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定

十五 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定

第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事項ノ外業務規程中ニ

左ノ事項ヲ規定スヘシ

一 混合保管ノ範圍

二 受寄物ノ返還ニ關スル規定

第四條 農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第五條 農業倉庫業者倉庫ノ所在地又ハ棟數ヲ變更セムトスルトキハ

地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 農業倉庫業者ハ事業年度終了後三月内ニ前年度ノ收支計算書及事業報告書ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第七條 農業倉庫業者事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第八條 農業倉庫業者事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第九條 農業倉庫業法第六條及第十三條ノ行政官廳ハ地方長官トシ同法第十五條及第十七條ノ行政官廳ハ農商務大臣及地方長官トス  
農業倉庫業法第十六條ノ行政官廳ハ産業組合、町村農會、郡農會又ハ町村若ハ之ニ準スヘキモノカ農業倉庫業者タル場合ニ於テハ農商務大臣、地方長官及郡長トシ其ノ他ノ場合ニ於テハ農商務大臣及地方長官トス

附則

本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第五條又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ公益法人ニ付地方長官ノ行フヘキ處分ハ當分ノ内農商務大臣之ヲ行フ

農業倉庫獎勵規則

大正六年八月十五日  
農商務省令第十六號

第一條 農商務大臣ハ農業倉庫獎勵ノ爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ハ左ニ掲クル道廳府縣ノ補助金ニ對シ道廳府縣ニ之ヲ交付ス

- 一 農業倉庫業者農業倉庫ヲ建築、改築若ハ修繕シ又ハ買入レムトスル場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付道廳府縣ノ交付スル補助金
- 二 農業倉庫業者農業倉庫ヲ建築、改築若ハ修繕シ又ハ買入レムトスル場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付郡、市町村若ハ之ニ準スヘキモノ、農會又ハ地主會等ノ交付スル補助金ニ對シ道廳府縣ノ交付スル補助金

第三條 補助金ノ額ハ農業倉庫ノ建築、改築若ハ修繕又ハ買入ニ要スル費用ノ二割以内トシ且道廳府縣ノ負擔額ヲ超エサルモノトス

第四條 補助金ノ交付ヲ受ケムトスル道廳府縣ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ前年度二月末日迄ニ農商務大臣ニ之ヲ提出スヘシ但シ前年度

ノ補助金交付申請書ニ添附シタルモノト變更ナキ規程ハ之ヲ添附スルヲ要セス

一 補助金豫算書及其ノ説明書

二 補助金交付ニ關スル規程

第五條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ニシテ前條ノ補助金豫算書又ハ規程ヲ變更セムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ前條但書ノ規定ニ依リ添附セサリシ規程ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第六條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ハ當該年度ニ於ケル補助金ノ決算及交付ノ成績ヲ翌年度六月末日迄ニ農商務大臣ニ報告スヘシ第七條ノ規定ニ依ル義務ノ存スルトキ亦同シ

第七條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ニシテ補助金豫算書ニ定メタル補助金ノ交付ヲ當該年度内ニ終了シ得サルトキハ年度後ニ於テ之ヲ繼續交付スルノ義務アルモノトス

第八條 道廳府縣第七條ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ補助金交付ノ成

績不良ナリト認ムルトキハ農商務大臣ハ補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトヲ得

附則

本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中前年度二月末日トアルハ大正六年度ニ限り大正六年十一月末日トス

日本勸業銀行法抄

明治二十九年四月法律第八十二號  
改正同三十三年三月法律第三十九號  
改正同四十四年三月法律第二十六號  
改正大正四年六月法律第二十號  
改正同六年七月法律第十七號

第十五條第三項 産業組合、漁業組合、森林組合、畜産組合又ハ其ノ聯合會ニハ抵當ヲ徵セスシテ定期償還貸付若ハ年賦償還貸付ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 日本勸業銀行ハ左ノ方法ニ依ルノ外前條ノ預リ金又ハ營業上ノ餘裕金ヲ使用

産業組合ニ關スル法規

スルコトヲ得ス

(一號及二號略)

三 産業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲スコト

### 農工銀行法抄

明治二十九年法律第八十三號 改正同三十三年法律第四十號  
 改正同四十年法律第三十八號 改正同四十二年法律第三十三號  
 改正同四十二年法律第三十六號 改正同四十四年法律第二十七號  
 改正同大正四年法律第二十二號 改正同大正六年法律第十八號

第七條ノ三 産業組合、漁業組合、森林組合、畜産組合又ハ其ノ聯合會ニハ無抵當ニテ第

六條第一號又ハ第二號ノ貸付ヲ爲スコトヲ得

(第六條)農工銀行ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一 三十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トシテ貸付ヲ爲スコト

二 年賦償還貸付金總高ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ限リ不動産ヲ抵當トシテ五箇年以

内ノ定期償還貸付ヲ爲スコト

第二十三條 農工銀行ハ左ノ方法ニ依ルノ外前條ノ預リ金又ハ營業上ノ餘裕金ヲ使用スルコトヲ得ス

(一號及二號略)

三 産業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲スコト

### 北海道拓殖銀行法抄

明治三十二年法律第七十六號 改正同三十八年法律第五號  
 改正同四十年法律第三十九號 改正同四十二年法律第十號  
 改正同四十三年法律第三十七號 改正同四十四年三月法律第二十九號  
 改正大正四年法律第二十一號

第八條第四項 産業組合、漁業組合、森林組合、畜産組合又ハ其ノ聯合會ニハ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

### 郵便貯金法抄

明治三十八年二月 法律第二十三號

第四條 左ニ掲グル預入金ニ付テハ前條第一項第二號ノ制限ヲ適用セス

産業組合ニ關スル法規



- 一 公共團體、社寺、學校又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ預入金
- 二 命令ノ規定ニ依ル共同貯金ノ預入金
- 三 産業組合ノ預入金
- 四 振替計算ノ爲ニスル預入金

(參照)

第三條 一人ノ郵便貯金制限額ハ左ノ如シ

- 一 一度ノ預入額 十錢以上
  - 二 貯金總額 千圓以下
- 預入金ノ端數ハ厘位ヲ限トス

### 郵便貯金規則抄

明治三十八年五月遞信省令第三十六號  
 改正大正六年十一月遞信省令第四十五號  
 (同年十二月一日ヨリ施行)

第二條 左ノ貯金預ケ人ハ貯金ノ目的ヲ異ニスル場合ニ限り二冊以上ノ通帳ヲ所持スルコトヲ得

- 一 公共團體、社寺、學校、産業組合又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體

- 二 規約貯金ノ預ケ人
- 三 据置貯金ノ預ケ人
- 四 共同貯金ノ總代人

### 政府ニ於テ産業組合ヨリ物品ノ買入ヲ爲 ストキ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルノ件

明治三十八年八月十七日勅令第二百一號  
 改正同四十二年九月十五日勅令第二百十九號

政府ニ於テ産業組合又ハ産業組合聯合會ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ爲ストキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 家畜市場法施行規則抄

明治四十三年十二月一日  
 農商務省令第二六號

第十一條 家畜市場法第八條ノ規定ニ依ル常設家畜市場ノ區域内ニ於テ開設スルコトヲ得ル産業組合ニ關スル法規

市場左ノ如シ

一三二

- 一 品評會、共進會、博覽會又ハ競馬會ノ開設スル臨時家畜市場
- 二 產牛馬組合法又ハ産業組合法ニ依リ設置シタル組合ノ家畜市場
- 三 家畜市場法施行前ニ開設ノ許可若ハ認可ヲ得タル家畜市場

(參照)

家畜市場法第八條 常設家畜市場ニ付主務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官ノ指定シタル區域内ニ於テハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ市場ノ取扱フ家畜ニ付市場ヲ開設スルコトヲ得ス

### 水産講習所種苗拂下規則抄

大正三年三月七日  
農商務省令第六號

第三條 種苗ノ拂下ヲ受クルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

- 一 地方水産試験場、水産講習所、學校、水産組合、漁業組合、産業組合
  - 二 道、府縣、郡、市町村其ノ他ノ公共團體
  - 三 一年以上養殖事業ニ従事シ相當ノ成績ヲ擧ケタル者
- 前項ニ該當セサルモノト雖水産講習所長ニ於テ適當ト認めタル者ニ對シテハ拂下ヲ爲スコトアルヘシ

### (二) 訓令及通牒

#### 産業組合及産業組合聯合會取扱心得

明治四十二年十一月十五日農第一四八五六號内訓  
 改正同四十四年八月二十三日農第一四七〇七號  
 改正同大正元年九月十九日農第七四三號  
 改正同大正六年十一月一日農第一〇一三號

第一條 産業組合ノ設立ヲ許可シ又ハ其ノ合併ヲ認可シタルトキハ左ノ事項ヲ具シ各一箇月分ヲ取纏メ之ヲ報告スヘシ其ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ但シ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 名稱
- 二 事務所
- 三 存立時期
- 四 許可又ハ認可ノ年月日

産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合又ハ産業組合聯合會ノ設立ヲ許可シ又ハ其ノ合併ヲ認可シタルトキハ定款ノ謄本ヲ添ヘ定款ノ變更ヲ認可シタルトキハ定款ノ抄本ヲ添ヘ各一箇月分ヲ取纏メ之ヲ報告スヘシ

訓令及通牒

一三三

前項ノ場合ニ於テ聯合會ノ區域カ二道府縣以上ニ涉リタルトキハ其ノ事由ヲ具スヘシ

第二條 削除

第三條 削除

第四條 産業組合臺帳及産業組合聯合會臺帳ヲ備ヘ別記第二號ニ列記シタル事項ヲ記載スヘシ

シ

第五條 組合ノ狀況ハ前年七月一日ヨリ六月末日迄ニ事業年度ヲ終了シタル組合ノ當該事業

年度ノ分ヲ別記第三號ノ様式ニ從ヒ毎年九月末日迄ニ報告スヘシ

産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合又ハ産業組合聯合會ニ付テハ産業組合法施

行規則第十條ニ依リ差出シタル書類ノ謄本ヲ遲滯ナク組合又ハ聯合會毎ニ差出スヘシ

第六條 削除

第七條 組合又ハ聯合會ノ解散ノ認可ヲ爲シ又ハ届出ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ具シ各一

箇月分ヲ取纏メ之ヲ報告スヘシ

一名 稱

二 解散ノ原因

三 解散ノ年月日

組合又ハ聯合會ノ事業ノ停止又ハ解散ヲ命シタルトキハ其事由ヲ具シテ直ニ之ヲ報告スヘシ

シ

第八條 本内訓ニ依ル報告又ハ書類ノ提出ハ大正六年勅令第二〇〇號ニ依リ農商務大臣及大

藏大臣ノ所管ニ係ルモノニ付テハ各別ニ之ヲ爲スヘシ

(別記)

第一號 削除

第二號

一名 稱

二 組織

三 區域

四 事務所

五 目的

六 設立許可年月日

七 出資一口ノ金額

八 出資拂込ノ方法

九 存立時期

十 事業年度

十一 解散ノ事由及解散ノ年月日

訓令及通牒



貯金	手形ノ割引歩合	手形ノ割引	貸付金ノ利率
前年度末現在 受入金額 拂戻金額 現在人員金額	最高 最低 普通	前年度末現在 割引額 決濟額 現在金額 枚數	最高 最低 普通

貸付金	借入金ノ利率	借入金
前年度末現在 貸付金 償還 現在 金額 件數 有擔保 無擔保 計	最高 最低 普通	前年度末現在 借入金 償還 現在

訓令及通牒

生産	購買	販賣	貯金ノ利率	拂戻準備金	産業組合法第一條第四項ニ依ル組合員外ノ貯金
					前年度末現在受入金額 拂戻金額 現在 〔金額 人員〕
			最高 最低 普通		
加工料 利用料	價額	價額			
總益金 (本年度總益金) (繰越金)					

豫約者ノ貯金		産業組合法第一條第三項ニ依ル組合員外ノ貯金		現在 〔金額 人員〕
計	其他	組合員ト同一ノ者	其他	
前年度末現在受入金額 拂戻金額 現在 金額	前年度末現在受入金額 拂戻金額 現在 〔金額 團體數〕	前年度末現在受入金額 拂戻金額 現在 〔金額 人員〕		

損		
益		
	總損金 其他 (繰越損失金)	計
	差引 (剩餘金) (損失金)	

(注意)

- 一 様式欄外ニ當該組合ノ種類ヲ記載シ且括弧内ニ前年七月一日ヨリ六月末日迄ニ事業年度ノ終了シタル當該種類ノ組合數ヲ記載スルコト
- 二 調査ニ漏レタル組合アルトキハ其ノ調査ニ漏レタル事由別組合數ヲ附記スルコト
- 三 一部ノ項目ニ付事實ノ正確ナラサルモノアルトキハ其ノ組合ハ調査中ニ之ヲ加ヘサルコト
- 四 當該種類ノ組合ニシテ貸付金、貯金、販賣、購買又ハ生産ノ事實ノ存セサルモノハ當該項目ノ備考欄ニ其ノ數ヲ記載スルコト
- 五 各利率及手形割引歩合ノ項目中最高、最低、普通トアルハ調査シタル各組合ノ最高、最低、普通ヲ各平均シタルモノナルコト

六 損益ノ項目中經費ニハ例ヘハ信用組合ニ於テ借入金及貯金ノ利息等ハ之ヲ除キ諸給料、旅費、通信費、消耗品費、雜費等ノ如キ事務ニ關スル費用ヲ計上シ其ノ他ニハ經費以外ノ損失ニ屬スルモノヲ計上シテ記載スルコト

- 乙 産業組合取扱物品
  - 一 單純ノ組合タルト兼營ノ組合タルトヲ問ハス同一取扱物品ニ付通計シ左ノ様式ニ從ヒ記載スルコト
  - 二 販賣事業又ハ購買事業ヲ營ム組合ニ於テ爲シタル加工ニ付テハ(ハ)ノ様式ニ準シテ各別ニ表示スルコト但シ加工料ノ記載ヲ要セス

(イ) 販賣事業

種	販賣	シ	タル	物	取	扱	備	考
自	數	量	價	額	組	合	數	

種目	加工後ノ物		加工前ノ物		加工料	取 組 合 數	取 組 合 數	備 考
	種目	數量	種目	數量				

(ハ) 生産事業  
一 加工


組合員ニ賣却シタル者  
種目 數量 價額 取  
組 合 數 取  
組 合 數 取  
備 考

二、取扱物品細別

計	生計用品	産業用品	組合員ニ賣却シタル物		取 組 合 數	取 組 合 數	備 考
			用途	價額			

(ロ) 購買事業  
一、取扱物品用途別










業 別	職 年	前年度末現在	本年度增加	本年度減少	本年度末現在
	員組合 口出資	員組合 口出資	員組合 口出資	員組合 口出資	員組合 口出資

丙 事業報告書様式 (信用組合ノ例其ノ他ノ組合モ之ニ準ス)  
 一 組合員及出資口數  
 (注意) 物件及證券ノ價額ハ時價ヲ以テ表示スヘシ

合	現	何	什	建	
計	金	々	器	物	
合	本年度剩餘金	何	何	特別積立金	
計		々	々		

何 合

差 引

乙 貸借對照表様式 (信用組合ノ例其ノ他ノ組合モ之ニ準ス)

何	預	土	貸	拂込未済出資金	種	貸
證	金	地	付		目	方
券			金		金	
				圓十錢厘	額	
準	借	豫	貯	出	種	借
備	入	約者ノ貯金	金	資	目	方
金	金			金	金	
					額	
				圓十錢厘		

何 何 何

圓 圓 圓

計	雜業	林業	水産業	商業	工業	農業
						人
						日
						人
						日
						人
						日
						人
						日

(注意) 豫約者ヨリ加入シタル者ノ數及職業別ノ數ヲ附記スヘシ

二 出資拂込

年 度	區 別	各自拂込	剩餘金ヨリ拂込	合 計

前年度末現在高	本年度拂込高	本年度拂戻高	本年度末現在高
圓十錢厘			圓十錢厘
			圓十錢厘

(注意) 「剩餘金ヨリ拂込」欄ノ本年度拂込高ハ前年度剩餘金處分ニ依リ配當セラレタ  
レ剩餘金ヲ記載スヘシ

本年度拂戻高ノ記載ハ實際拂戻ヲ爲シタル年度ニ屬スル分ヲ記載スヘシ

三 損益計算

利 益	損 失
種 目	種 目
金 額	金 額
貸付金利息	貯金利息
圓十錢厘	圓十錢厘

前年度末現在高	本年度借入金	本年度償還高	本年度末現在高	預金利息	土地收入	國債證券利息	何々	何々	雜收入	合計
				借入金利息	諸給料	旅費	通信費	合計		
差引剩餘金										
四 借入金及其ノ償還										

圓十錢厘	圓十錢厘	圓十錢厘	圓十錢厘
------	------	------	------

(注意) 借入金ノ最高、最低及普通利率ヲ年利ヲ以テ附記スヘシ  
 普通利率ハ借入金(前年度末現在ヲ含ム)各口ニ付金額ニ其ノ借入日數ヲ乘シタル積ノ  
 合計ヲ以テ利息ノ合計ヲ除シタル商ニ依ル但シ計算ヲ困難トスル組合ニ在リテハ主ナル  
 借入金ニ對スル利率ニ依ルモ差支ナシ  
 四ノ二 準備金及各種積立金

區別	前年度末現在	本年度積立	本年度處分	本年度末現在
	準備金			
	特別積立金			
	何々積立金			
計				

(注意) 本年度積立及本年度處分ノ金額ニ付テハ其ノ積立テ又ハ處分シタル種目別ノ  
 金額ヲ附記スヘシ  
 訓令及通牒

五 總會又ハ總代會ノ決議

總會又ハ總代會ノ種類、開會ノ時期、施行規則第十二條ノ借入及貸付最高金額其ノ他決議ノ要領等ヲ記スヘシ

(注意) 本事業報告書ノ承認ヲ爲スヘキ總會又ハ總代會ニ於ケル事項ハ翌年度ノ事業報告書中ニ記載スヘシ

六 事業ノ狀況

貸付、貯金取扱ノ繁閑、資金需用ノ狀況其ノ他組合事業ニ付記載スヘシ

七 貸付金及其ノ償還

計	無擔保		有擔保	
	金額	件數	金額	件數
前年度末現在				
本年度貸付				
本年度償還				
本年度末現在				

(注意) 物上擔保貸付ニ非サル貸付ハ無擔保貸付中ニ算入スヘシ

貸付ノ目的、擔保ノ種類ヲ附記スヘシ  
八 貯金

前年度末現在		本年度受入		本年度拂戻		本年度末現在	
金額	員數	金額	員數	金額	員數	金額	員數

(注意) 脱退者ノ貯金ニシテ未タ拂戻ヲ爲ササルモノヲ包含セル場合ニハ其ノ人員及金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

九 貸付及貯金利率

貸付金			貯金		
最高	最低	普通	最高	最低	普通

(注意) 總テ利率ハ年利ヲ以テ記載スヘシ  
 「普通」ハ貸付金若ハ貯金(何レモ前年度末現在ヲ含ム)各口ニ付金額ニ其ノ貸付日數若  
 ハ預リ日數ヲ乘シタル積ノ合計ヲ以テ貸付金利息若ハ貯金利息ノ合計ヲ除シタル商ニ  
 依ル但シ計算ヲ困難トスル組合ニ在リテハ件數最多キ利率ニ依ルモ差支ナシ  
 十 豫約者ノ數及其ノ貯金

前年度末現在	本年度受入	本年度拂戻	本年度末現在
金額	金額	金額	金額
員數	員數	員數	員數
圓十錢厘 人	圓十錢厘 人	圓十錢厘 人	圓十錢厘 人

十一 處務ノ要件

官廳ヘノ申請、報告、届出、官廳ノ検査、命令、登記其ノ他重要ナル事項ヲ列記スヘシ  
 丁 剩餘金處分案様式 (信用組合ノ例其ノ他ノ組合モ之ニ準ス)  
 一金何圓 本年度總益金  
 一金何圓 本年度總損金  
 差引  
 一金何圓 本年度剩餘金

此處分

一金何圓 (剩餘金ノ何分ノ一) 準備金  
 一金何圓 (何ニ對シ年何歩ノ割) 配當金  
 内何圓 出資ノ拂込ニ充ツ  
 一金何圓 特別積立金  
 一金何圓 何々

戊 信用組合以外ノ各組合ニ付産業組合法施行規則第十一條第六號ニ關スル様式

(販賣組合)

受入又ハ販賣シタル物ノ數量及價額

種目	前年度末現在高		本年度受入高		本年度販賣高		本年度末現在高	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
何々	實百十匁	圓十錢厘	實百十匁	圓十錢厘	實百十匁	圓十錢厘	實百十匁	圓十錢厘
何々								
何々								



計	何々	何々

(注) 委託販賣ニ依ルモノト否トハ之ヲ區別シテ記入スヘシ

「本年度受入高」ノ「價額」ハ委託販賣ノ場合ニ於テハ記入ヲ要セス「本年度末現在高」ノ

「價額」ハ時價ヲ以テ示スヘシ

加工ヲ爲シタル場合ニ於テハ生産組合加工ノ様式ニ準シ相當附記スヘシ但シ加工料ノ記載ヲ要セス

(購買組合)

購買又ハ賣却シタル物ノ數量及價額

何々	前年度末現在高		本年度購買高		本年度賣却高		本年度末現在高	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
	實百十夕	圓十錢厘	實百十夕	圓十錢厘	實百十夕	圓十錢厘	實百十夕	圓十錢厘

計	何々	何々	何々	何々

(注) 「本年度末現在高」ノ「價額」ハ時價ヲ以テ示スヘシ

産業用品、生計用品ノ何レカ一方ノミヲ取扱フ組合ニ在リテハ其ノ旨、兩種ノ物品ヲ取扱フ組合ニ在リテハ本年度賣却高ノ總額ヲ可成實際ノ用途ニ據リ産業用品ト生計用品トニ分チタルモノヲ必ス附記スヘシ

物品ノ種類多ク數量又ハ價額少キカ爲一々其ノ數量及價額ヲ記載スルノ煩ニ堪ヘサル場合ニハ重ナル物品ニ付テノミ之ヲ記載シ其ノ他ニ付テハ數量ノ記載ヲ略シ價額ハ之等ヲ合計シタルモノヲ記載スルモ差支ナシ但シ物品名ハ悉ク記載スルコトヲ要ス加工ヲ爲シタル場合ニ於テハ生産組合ノ加工ノ様式ニ準シ相當附記スヘシ但シ加工料ノ記載ヲ要セス

訓令及通牒

(生産組合)

生産シタル物ノ數量又ハ加工若ハ利用ノ功程

(イ) 生産シタル物ノ種目別ノ數量、加工ノ功程

加工後ノ物		加工前ノ物		加工料	
種目	數量	種目	數量		備考

(注意) 加工前ノ物ノ數量ニハ加工スヘキ物トシテ受入レ未タ加工チ了ラサル物ノ數量ヲ包含セシメサルヲ要ス

備考ニハ加工ノ設備方法ヲ簡單ニ記載スヘシ

右ノ様式ニ依リ難キモノアラハ加工ノ功程ノ概要ヲ示ス様便宜記載スヘシ

(ロ) 設備ノ利用

設備	種目	數量	利用ノ程度	利用料	備考

--	--	--	--	--	--

第二 産業組合聯合會

産業組合ヨリ差出スヘキ書類ノ様式ハ産業組合聯合會ヨリ差出スヘキ書類ノ様式ニ之ヲ準用ス但シ「丙」事業報告書様式第一號中「組合員ノ職業別」欄ニハ「組合又ハ聯合會ノ種類」「組合員數」ノ欄ニハ組合又ハ聯合會ノ數ヲ記載スヘシ

市街地信用組合ノ財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式ニ關スル件

大正六年十二月農第一〇九五八號  
農商務、大藏兩官通牒

産業組合法第一條第三項及第四項ノ事業ヲ營ム信用組合ノ財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ハ明治四十二年農第一四八五七號通牒ノ様式ニ準スル外左記様式ニ依リ作成セシムル様致度依命此段及通牒候也

一 手形割引及其決済

訓令及通牒

三職業別貯金  
訓令及通牒

合計	産業組合 法第一條 第三項ニ 依ル組合 員外ノ貯 金	計	其他	區別	
				金額	人員又ハ 團體數
				前年度末 現在高	圓十錢厘
				本年度 受入高	圓十錢厘
				本年度 拂戻高	圓十錢厘
				本年度末 現在高	圓十錢厘

二組合員外貯金

計	爲替手形		約束手形		區別
	無擔保	有擔保	無擔保	有擔保	
(注意) 擔保ノ種類ヲ附記スヘシ				圓十錢厘	前年度末 現在高
				枚	金額
				圓十錢厘	本年度 割引高
				枚	金額
				圓十錢厘	本年度 決濟高
				枚	金額
				圓十錢厘	本年度末 現在高
				枚	金額

計	組合員ノ貯金			區別
	普通貯金	定期貯金	據置貯金	
	金額	人員口數	金額	農
	金額	人員口數	金額	工
	金額	人員口數	金額	商
	金額	人員口數	金額	其他
	金額	人員口數	金額	合計

計	依ル組合員外ノ貯金			區別
	何々	何々	何々	
	金額	人員口數	金額	千圓以上
	金額	人員口數	金額	五百圓以上 千圓未満
	金額	人員口數	金額	百圓以上 五百圓未満
	金額	人員口數	金額	五十圓以上 百圓未満
	金額	人員口數	金額	五十圓未満
	貯金額	人員口數	貯金額	一口當

四金額別貯金



ハ保管	供託又			聯合會貯金
	國債證券	勸業債券	何々	
合計				

(注意) 金額欄ニハ證券ノ時價ノ合計ヲ記載スヘシ  
證券ノ單價其ノ他參考トナルヘキ事項ハ備考欄ニ記載スヘシ

### 産業組合カ蠶種製造ニ關スル件

明治四十一年六月農受第  
二七〇七號農務局長通牒

蠶病豫防法ニ於テ自ラ蠶兒ノ飼育ヲ爲サス全然他人ヨリ讓受ケタル繭ノミヲ以テ蠶種ヲ製造スルモノハ之ヲ蠶種製造業ト認メサルコトニ省議決定相成居リ隨テ産業組合カ蠶種ノ製造行爲ヲ爲スハ蠶種製造者タル組合員ニ代ツテ其ノ生産シタル繭ニ加工スル場合ノミニシテ總テノ場合ニ於テ組合自ラ蠶種製造者タルコト能ハサル儀ニ有之候處從來蠶種製造者タリシ組合員カ往々産業組合ナシテ蠶種製造ノ届出ヲ爲サシメ其ノ實ニ於テ組合員カ蠶種ヲ製造シ以テ脱税ノ手段ニ供スル向モ有之哉ニ及聞候條右様ノ儀無之様豫メ當業者へ御注意相成度此段及通牒候也

### 地主カ販賣組合ニ加入スルノ件

明治四十一年八月農發第  
一七〇號農商務次官通牒

地主カ農業ニ關スル何等ノ行爲ヲ爲サス單ニ其ノ所有地ヲ貸付シ其ノ地代トシテ小作米ヲ取得スル場合ニ於テハ其ノ米ノ生産者ト謂フコトヲ得サルコトハ勿論ノ儀ニ候へ共地主ニシテ

訓令及通牒

當時其ノ所有地ノ生産ニ付企業者ノ如ク關與シテ小作米ヲ收納スル者ハ其ノ收納米ニ付自ラ生産シタルモノトシテ取扱候事ニ省議決定致候條販賣組合ノ組合員トシテ地主ヲ加入セシムルモノニ付テハ右ニ依リ相當處理相成様致度此段及通牒候也

### 組合員カ組合ヨリ受クル配當金ニ對スル

#### 所得稅ニ關スル件

明治四十一年九月農受第  
一八一二號農務局長通牒

組合員カ産業組合ヨリ受クル配當金中割戻ノ性質ヲ有スルモノハ所得稅ヲ賦課セラルルコトナキモ所得ノ性質ヲ有スルモノニ付テハ所得稅法第四條第三號中ノ所謂「此ノ法律ニ依リ所得稅ヲ課セラレサル法人ヨリ受ケタル配當金」ニ該當シ第三種所得稅ヲ賦課セラルヘキモノニ有之候但配當金中所得ノ性質ヲ有スルヤ否ヤハ各種組合ノ各組合員カ受クルモノニ付テ審査スヘキモノニ有之候條參考迄及通牒候也

### 産業組合名稱ニ關スル件

明治四十一年農發第一一三一五  
號及局發一六七號農務局長通牒

産業組合ノ名稱中其ノ目的ヲ示スヘキ文字トシテハ産業組合法第一條括弧中ノ文字ヲ用井ルコトヲ要シ其間ニ何等文字ノ挿入ヲ許ササル儀ニ有之候條御了知相成度尙從來ノ組合ニシテ右ニ反スル名稱ヲ附スルモノハ時期ヲ見計ラヒ變更方御取扱ヒ相成度依命此段及通牒候也  
追而兼營ノ組合ニ付テハ何々信用購買販賣生産組合トシ中間ニ挿入シタル組合ノ文字ハ除クヘキモノニ候條爲念申添候也

六月十三日附第一一三一五號ヲ以テ産業組合ノ名稱中其ノ目的ヲ示スヘキ文字ノ用例ニ付通牒致置候處追而書ノ兼營組合ニ於テモ勿論中間何等ノ文字ヲモ挿入スル能ハサル儀ニ有之從テ「無限責任大川購買兼(及並ニ)販賣組合」「有限責任大川毛筆販賣及原料購買組合」等ノ如キ圈點ノ分ハ挿入シ得サル儀ニ有之候ヘ共之ニ反シ「無限責任大川信用販賣組合」又ハ「有限責任信用生産組合大川社」ト謂フカ如ク「有限責任」ナル文字ノ前後若クハ「何々組合」ナル文字ノ下ニ特種ノ名稱ヲ示スヘキ文字ヲ挿入スルハ支障無之儀ニ有之候處該通牒ニ對シ往々質疑ノ向モ有之候條爲念此段及通牒候也

### 産業組合法中加工ノ意義ニ關スル件

明治四十二年十二月農第  
一三九六號農務局長通牒

産業組合法第一條ニ所謂加工ノ意義ニ關スル岡山縣ノ質疑ニ對シ別紙ノ通回答致置候條貴官ニ於テモ同様御取扱相成様致度此段及通牒候也

(別紙)

明治四十一年九月十七日付商甲第八三八號ヲ以テ産業組合法第一條ニ所謂加工ノ意義ニ付御照會ノ件了承右加工ハ凡テ動産ニ工作ヲ加フルヲ謂ヒ其ノ工作ノ程度如何ヲ問ハサルモノニ有之御照會セノ場合ノ總テヲ含ムモノト被解候間加工ニ際シ相當ノ助成材料ヲ用フルハ差支無之候モ主タル材料ハ購買組合ニ在リテハ其ノ目的タル購買物件、販賣組合又ハ生産組合ニ在リテハ組合員ノ生産セシ物タルヲ必要トスル義ニ有之候條右様御承知相成度依命此段及同答候也

(參照)

明治四十一年九月十七日

岡山縣知事 谷口留五郎

農商務省農務局長織田一殿

産業組合法第一條ノ加工トハ精米、製材、罐詰等ノ如ク加工ノ程度低ク工程單純ナルモノヲ指ス義ト被存候處製絲、製紙、醸造、織物製造等ノ如ク加工ノ程度高クシテ全ク原形ヲ變スルモノハ包含セサル義ニ候哉何分ノ義至急御回報相成度

### 定款ノ規定上注意スヘキ事項ニ關スル件

明治四十四年八月農第一四七〇七號  
農商務次官通牒  
改正大正六年十一月農第一〇〇一三號

今般明治四十二年農第一四八五六號内訓産業組合及産業組合聯合會取扱心得中改正アリタルニ付テハ組合設立ノ許可、合併ノ認可又ハ定款變更ノ認可ヲ爲スニ方リ最モ慎重ニ組合經營上遺漏ナキ様調査相成度左ニ從來ノ事例ニ於テ多ク生シタル定款ノ規定上注意スヘキ事項ヲ列舉シタルニ付留意相成度尙定款ノ規定ニシテ當否疑ハシキモノ又ハ異例ト認メラルモノアルトキハ意見ヲ具シ定款ノ謄本ヲ添ヘテ許可又ハ認可前豫メ打合セ相成度  
追テ理事監事ノ任期ニ關スル明治四十一年農發第七二號農商務次官通牒、信用組合加入豫約ニ關スル明治四十二年農第一五〇五六號農務局長通牒、組合原簿記載事項取纏メ記載ニ關スル同年農第一五〇五七號農務局長通牒及加工ヲ爲ス組合ノ定款規定方ニ關スル明治四十二年農第三八二九號農商務次官通牒ハ此際廢止シタルニ付左様御了知相成度  
右依命通牒ス

#### 注意事項

一 組合ノ事業ハ明瞭ニ詳記セシムヘシ加入豫約者ノ貯金ヲ取扱ハムトスルトキハ其ノ旨ヲ明記セシムヘシ

訓令及通牒



- 一 購買組合ノ取扱物品ハ組合員ノ産業用品ナリヤ又ハ生計用品ナリヤチ區別シテ明記セシムヘシ
- 一 販賣組合購買組合及生産組合ニ於テ加工ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨及事業執行ニ關スル規定中ニ如何ナル物品ニ如何ナル加工ヲ爲スヤチ明記セシムヘシ
- 一 事務所ノ所在地及番地ヲ明記セシムヘシ
- 一 信用組合及信用事業兼營組合ノ區域ニ付テハ隣保相助ノ趣旨ニ悖ルコトナキ様特ニ注意シテ規定セシムヘシ
- 一 組合ノ存立時期ヲ餘リニ短期ヲ以テ限定スルハ實際上組合ノ目的ヲ達スルニ適當ナラサルカ故ニ存立時期ヲ定ムル場合ニハ少クトモ十箇年ヲ下ラサル様注意スヘシ
- 一 貸付金額及貯金額ニ應ジテ持分ヲ有セシムルコトナキ様注意スヘシ
- 一 持分ニ關スル規定ヲ組合財産ノ各科目ニ付各別ニ規定シ而カモ年度毎ニ算定シテ加算スル方法ヲ採リタルトキハ保證責任販賣組合聯合會模範定款第七條ノ如キ規定ヲ設ケシムル様注意スヘシ
- 一 出資拂込ノ方法ニ關スル規定ニ付テハ小産者ノ拂込ヲ困難ナラシムルコトナキ様注意スヘシ
- 一 準備金額ハ直接又ハ間接ニ其ノ金額ヲ確定的ニ規定セシムヘシ「出資總額ト同額以上トス」ト謂フカ如キ不確定ノ規定ヲナサシメサル様注意スヘシ

- 一 施行規則第五條ノ規定ニ依リ積立ヘキモノハ準備金カ定款所定ノ額ニ達シタル後ト雖尙積立ヘキモノナルニ付注意スヘシ
- 一 剩餘金處分ニ關スル規定ハ剩餘金ヲ處分シ盡ノ様明記スヘシ又此ノ規定ト剩餘金配當ノ規定トニ於テ順位、割合等カ矛盾スルコトナキ様注意スヘシ
- 一 準備金又ハ特別積立金管理ノ爲預金ト爲シ又ハ有價證券ヲ買入レムトスル組合ニ在リテハ預ケ先ハ總會ノ承認ヲ經タルモノニ限リ又ハ有價證券ノ買入ニ付テハ國債證券、地方債證券、勸業債券、貯蓄債券、日本興業銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券及農工債券以外ノモノニ付テハ總會ノ承認ヲ經タルモノニ限ル旨ヲ明記セシムヘシ
- 一 特別ノ事情ナキ組合ニ在リテハ理事ノ任期ハ六箇年、監事ノ任期ハ三箇年ヲ超エサル範圍内ニ於テ定メシムヘシ
- 一 理事、監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フヘキ旨ノ規定ヲ設ケシムヘシ
- 一 産業組合法第二十三條ニ規定セル總組合員ノ「五分ノ一」ナル制限ハ定款ノ規定ヲ以テ其ノ商ヲ増大スルコトヲ得サルニ付注意スヘシ
- 一 特別ノ事情ナキ組合ニテハ總會ノ開會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニアラサレハ開會スルコトヲ得サル旨ノ規定ヲ設ケシムヘシ
- 一 無限責任組合ノ合併ハ總會ノ決議事項ニ非サルカ故ニ之ヲ決議事項トシテ擧ケタル場合訓令及通牒

ハ削除セシムヘシ

- 一 産業組合法第三十八條ノ準用シタル民法第六十四條但書ニ依リ別段ノ規定ヲ設クル場合ニ於テハ急速輕微ナルモノニ限ル旨ヲ規定セシムヘシ
- 一 代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ禁スル規定ヲ設ケタルトキハ之ヲ削除セシムヘシ
- 一 事業年度ノ變更ヲ爲スニ際シテハ一箇年ニ足ラサル時日ヲ以テ一事業年度ト爲スノ止ムヲ得サルニ至ルコトアルモ之カ爲ニ一箇年以上ノ期間ヲ以テ事業年度ト爲スコトナキ様注意スヘシ
- 一 特別ノ事由アリテ三箇年以上ノ期限ヲ以テ貸付ヲ爲サムトスル組合ニ於テハ定款ニ其ノ場合ヲ列擧シ其ノ最長期ヲ定メ且其ノ償還ハ可成割賦ノ方法ニ依ラシムル旨ヲ規定セシムヘシ
- 一 貸付金及貯金ノ利率ニ付テハ必ス其ノ最高限ヲ規定セシムヘシ
- 一 販賣組合又ハ購買組合ニ付テハ其ノ販賣シ又ハ購買スル物品ノ重ナル種目ヲ定款ニ掲記シ生産組合ニ就テハ設備ノ重ナル種目ヲ掲記セシムヘシ
- 一 購買組合ニ付テハ組合力組合員ニ賣却スル物品ノ價格ノ標準ヲ規定セシムヘシ
- 一 販賣組合、購買組合又ハ生産組合ニ於テ歩合金又ハ利用料ヲ徵スル場合ハ之ニ關スル規定ヲ設ケ否ラサル場合ハ其ノ旨明記セシムヘシ
- 一 組合ノ餘裕金保管方法ハ必ス之ヲ定款ニ規定セシムヘシ但シ其ノ方法ニ付テハ不安全ナルコト及固定スルコトナキ様注意スヘシ

- 一 剩餘金配當ノ標準ハ持分(全部若ハ一部)ニ應スルモノナリヤ又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ應スルモノナリヤヲ明定セシムヘシ
- 一 無限責任組合及保證責任組合ニ付テハ組合員及脱退シタル組合員ノ損失分擔ニ關スル規定ヲ脱セサル様注意スヘシ
- 一 加入豫約者カ加入スル場合モ出資拂込ニ關スルモノヲ除クノ外加入ノ手續ニ依ラシメ且其ノ貯金ノ全部ヲ以テ出資第一回ノ拂込ニ充テシムル旨ヲ規定セシムヘシ
- 一 加入金又ハ増口金ハ左ノ場合ノ外之ヲ認ムヘカラス
  - 一 手数料トシテ少額ヲ徵スルトキ
  - 二 持分ノ均等ヲ圖ル爲ニ徵スルトキ
- 一 持分ニ關スル規定ニ於テ年毎ニ算定加算スル方法ヲ採レル組合カ加入金又ハ増口金ヲ徵收スル場合ニハ右第一號ノ加入金ニ限り之ヲ徵收スルコトヲ得ルモノナルニ付注意スヘシ
- 一 持分ノ讓受人カ組合員ニ非サル者ナルトキハ持分ノ均等ヲ圖ル爲徵收スル加入金ハ徵收セサル旨ヲ明定セシムヘシ

### 〔三〕處分例

産業組合ニ關スル農商務省ノ處分例中其ノ重ナルモノノ要旨ヲ抄録セルモノナリ

#### 産業組合設立許可取消ノ件

明治三十五年四月  
往第三五九三號

産業組合法ニ於テハ已ニ設立シタル組合ニ對シ許可取消ヲ行フニ適用スル規定ナシ依テ同法第六十二條ニ依リ解散ヲ爲サシムルカ又ハ同法第六十一條ニ依リ解散ヲ命スルカノ二途ニ出テサルヘカラス

#### 購買組合ノ目的ニ關スル件

明治三十五年九月  
受第六六五五號

購買組合ノ目的トシテ種豚ヲ購入シテ其ノ種豚ヲ賣却セス其ノ生産シタル幼豚ニ限リ組合員ニ賣却スルハ組合自ラ牧畜業ヲ營ムモノニシテ産業組合法第一條第一項第三號ニ所謂購買組合ト難認又組合所有ノ種豚ノ餘勢ヲ供給スルハ生産組合ノ事業トシテハ或ハ認メ得ヘキモ購買組合ノ事業トシテハ認メ難シ

組合員ノ資格ニ關スル件

明治四十二年四月  
農受第四一四號

組合員ハ組合ノ區域内ニ居住スル者タルコトヲ要ス從テ組合ノ區域内ニ如何ナル關係ヲ有スル者ト雖組合ノ區域内ニ住居セサル者ハ組合ニ加入スルコトヲ得サルモノトス

「獨立ノ生計」ノ意義ニ關スル件

明治三十六年八月  
受第一〇二二號

産業組合模範定款中「獨立ノ生計云々」トハ月主タルト家族タルトヲ問ハス又同居ト別居トヲ問ハス自己ノ收支ヲ以テ生計ヲ營ムモノヲ意味スルモノナリ

法人力組合ニ加入スル件

明治四十一年七月  
農受七六〇七號

産業ニ従事スル私法人ハ産業組合ニ加入スルコトヲ得ルモ市町村ノ如キ産業ヲ營マサル公法人ハ組合ニ加入スルコトヲ得サルモノトス

事務所ノ位置ニ關スル件

明治四十一年二月  
農受第一一三二號

産業組合ノ事務所ハ組合ノ區域内ニ置クヲ肝要トスルモ止ムヲ得サル場合ハ之ヲ區域外ニ置クモ差支ナキモノト認ム

取次所ニ關スル件

明治四十二年二月  
農受第五〇號

取次所ト雖從タル事務所トシテ繼續的ニ事務ヲ執リ居ル場合ハ之ヲ定款ニ記載スルヲ要ス

出資拂込ニ關スル件

明治四十二年四月  
農受第一一一號

出資ノ拂込ニ國庫債券ヲ以テスルハ違法ナリ産業組合ノ出資ハ金錢ヲ以テ拂込ムコトヲ要ス

出資ノ第一回拂込金額ニ關スル件

明治四十年十一月  
農受第八七七號

出資ノ第一回拂込金額ノ最低限ヲ定メ其ノ額ニシテ確定セサルモノモ差支ナキモノト認ム

出資第一回拂込金額ニ關スル件